

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【国語】

| 書名 項目 | 新しい国語 | 2 |
|----------|--|----|
| | | 東書 |
| 内容 | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○「広学言葉」と資料編の「言葉を広げよう」で多くの語彙について学ぶことができる。文法事項は体系的に整理されている。○情報の扱い方については、「論理的な言葉の力」の系統の教材で「情報の整理の仕方」「情報と情報との関係の捉え方」を学べるようになっている。○古典は作品の背景がわかる資料があり、巻末の資料には豊富に古典作品がある。 | |
| | <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○「話す・聞く」は「対話的な言葉の力」の系統で、伝え合う力の基礎を学べるよう工夫されている。○「書く」の教材は、学習過程の途中段階、完成形が具体例として示されている。○「読む」で身に着けた「言葉の力」を「話す・聞く」「書く」の言語活動に結び付け、思考力、表現力を育成できるよう工夫されている。 | |
| | <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○6人の中学生が登場する「学びの扉」で課題に気づき、教材のてびきの学習活動を行いながら「学びを支える言葉の力」にまとめられている、「言葉の力」を確実に定着させるという、学習のプロセスが明確に示されている。このことで、生徒が主体的に学び、国語の資質・能力が身につくようになっている。 | |
| | <p><読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○「読む」の学習材や「読書への招待」での関連図書の紹介やテーマ読書、名作読書、著名人が薦める本などの読書案内が豊富にある。○読書活動では、読書を楽しむこと、情報活用能力を育成することができるようになっている。 | |
| 資料 | <ul style="list-style-type: none">○巻末の豊富な資料で主体的に学びを深めることができるようになっている。○「学びを支える言葉の力」は「論理的」「文学的」「対話的」な言葉の力がまとめられてあり、汎用的な学力に結びつく資料となっている。○表紙、巻頭のイラストにストーリー性が感じられ中学生の感性に合っている。 | |
| 表記・表現 | <ul style="list-style-type: none">○本文下段の新出漢字のフォントが大きく、フリガナが多くふられている。また、「漢字道場」で「他教科で学ぶ漢字」を学習できる。○行末に行数と「・」がつけられていて行を数えやすい。○色の違いで区別しているところには、マークや文字情報を加えたカラーユニバーサルデザイン仕様になっている。 | |
| 総括 | <ul style="list-style-type: none">○「読む、書く、話す・聞く」の3領域の言語活動は「主体的・対話的で深い学び」が実現できるような工夫がされていて、キャラクターやイラストが多く使われ、楽しく学べる教科書になっている。 | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【国語】

| 書名 項目 | 現代の国語 | 15 |
|----------|--|-----|
| | | 三省堂 |
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○語彙については、教材ごとの「語彙を豊かに」と巻末の「語彙の広がり」で確かな言葉の力を身に付けることができるようになっている。また、資料編に辞書を活用する教材が各学年にあり、言語活用能力が身につくよう図られている。</p> <p>○情報の扱い方については、図表やグラフと文章を関連付けて考えを深める教材が各学年の単元6に配置されている。</p> <p>○古典教材には視覚的な資料が豊富にあり、巻末の資料「古典芸能に親しむ」で日本の伝統文化に対する興味、理解を深めることができるようになっている。</p> | |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○「話す・聞く」は話し合いを通して伝え合う力を伸ばす言語活動の工夫がある。</p> <p>○「書く」は、様々な文章の形式について学び、社会生活に生かせる「書く力」を育成できるようになっている。</p> <p>○「読む」では、「読み方を学ぼう」で読解のポイントを図解で示している。また、各教材にある「思考の方法」では、考えを深める思考法について、汎用的な力がつくようになっている。</p> | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○教材ごと「学びの道しるべ」で見通しをもって主体的に学ぶことができ、振り返りで自己評価できるようになっている。「学び方」を学ぶことで、他教科や社会生活で活用できる、汎用性のある言葉の力を身に付けられるようになっている。</p> <p>○資料編の「読書の広場」には、古事記をはじめとして様々なジャンルの文章が掲載されている。</p> | |
| | <p>〈読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫〉</p> <p>○有名作家の「私の読書体験」、巻末の「読書の広場」、教材ごとの「私の本棚」など豊富な読書教材が配置されている。</p> | |
| 資料 | <p>○資料編は「情報を活用する」「古典芸能に親しむ」「社会生活に生かす」「参考資料」の4つになっていて、実践的な知識や具体の学び方などがまとめている。</p> <p>○古典は、2次元コードで原文や現代語訳を調べられるようになっている。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○巻末の参考資料に「○年生で学ぶ漢字辞典」として、教材ごとの新出漢字が筆順や用例、同音同訓異字まで詳しく示されている。</p> | |
| 総括 | <p>○「学び方」や「読み方」を学び、学習の見通しをもって教材に取り組み、振り返りができるという学習の流れになっていて、生徒が主体的に学習を進めながら、確かな学力が定着する構成になっている。</p> <p>○巻末の資料編では、学んだことがまとめられていて、他の教科や社会生活に役立つ知識となるように整理されている。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【国語】

| 書名 項目 | 伝え合う言葉 中学国語 | 17 |
|----------|--|----|
| | | 教出 |
| 内容 | <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○語彙については、「読む」教材ごとに「この教材で学ぶ言葉」を示し、巻末にも折り込資料として理解・表現に役立つ言葉が提示されている。 ○「情報の扱い方」については、「学びナビ」や「表現に役立つ言葉」で論理的に思考する力、情報を整理し表現する力がつくよう工夫されている。 ○古典教材は導入時の資料に興味を持たせる工夫があり、巻末の資料で百人一首など伝統的な言語文化に親しむことができるようになっている。 | |
| | <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○SDGsの視点で選定された各領域にわたる教材の学習で一人ひとりが課題を見つけ、「正解のない問い」に対して自分の考えをもち、意見を交流することで「主体的・対話的で深い学び」が実現できるように編集されている。 ○「話す・聞く」「書く」の教材では、表現活動を通して「思考力」が身につくようになっている。 ○説明的文章で学んだ論理の展開、表現の工夫を「書くこと」に結びつける言語活動の工夫がある。 | |
| | <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○教材の初めの「学びナビ」で何を学ぶかという学習の見通しをもち、「みちしるべ」に従った学習活動で言葉による見方や考え方を働かせ、「振り返り」で学んだことを確かめるという学習のプロセスが明確に示されている。 ○「四季のたより」では写真資料で視覚的な情報を与えて詩歌の情緒を味わうなど伝統的言語文化を学ぶことができるようになっている。 | |
| | <読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫> ○単元に関連した図書を「広がる本の世界」でその都度紹介し、「読書への招待」では各学年で適切な作品を選定し、ていねいな解説資料も掲載されている。 | |
| 資料 | ○巻末資料の「言葉の自習室」には読書、古典、語彙等についての豊富な資料が掲載され、学んだ言葉の力を深めることができるようになっている。 ○巻末の折り込資料「表現や理解に役立つ言葉」では関連するページに戻って学習することができるようになっている。 | |
| 表記・表現 | ○国語学習に必要な用語、小学校6年で学習した漢字、常用漢字が巻末にまとめられている。 | |
| 総括 | ○①国語の学び方を学ぶ、②日本の「言葉と文化」を学ぶ、③現代の「地球規模的な課題」を学ぶ、の3つの柱で構成されている。また、「学びナビ」で何を学ぶかが示されていて、国語科で身に付ける「資質・能力」について見通しをもって学習できるようになっている。 | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【国語】

| 書名 項目 | 中学校国語 | 38 |
|----------|--|----|
| | | 光村 |
| 内容 | <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「言葉を広げる」では、文章中で理解した語を使用できる語にする学習活動があり、巻末には「語彙を豊かに」という語感を磨く資料を掲載している。 ○情報の扱い方については、「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」「情報社会を生きる」にまとめられていて活用する技能を高められるようになっている。 ○1年の古典学習に3年間で学ぶ作品を一覧で示し学習意欲を高める工夫がある。「季節のしおり」「季節の言葉」で言語文化の豊かさを学ぶことができる。 | |
| | <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「話す・聞く」では、対話的な学びの基礎として質問力(主体的に聞く力)をつけることを目的とした「対話・質問」の教材が掲載されている。 ○「書く」では、統計資料を活用して書く活動を多く設定し、情報活用力を育成するようになっている。 ○「読む」では、「学習の窓」に文学的、説明的文章を読むための基本的な観点がまとめられていて、読むだけでなく書くことにも活用できるようになっている。 | |
| | <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○巻頭には学習内容の一覧表があり、「話す・聞く」「書く」では「集める・整理する→組み立てる→伝え合う・表現する」という学習過程、「読む」では「捉える→読み深める→考えをもつ」という学習過程を明示し、学習の見通しをもち主体的に学習できる構成になっている。巻末には、「学習の窓」一覧があり「学習を振り返ろう」で学んだことの定着が図れるようになっている。 | |
| | <読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫> ○「本の紹介」「感想の共有」「読書生活のデザイン」の3つの系統の学習活動を各学年で提示している。 ○「読む」教材ごとの「広がる読書」で関連図書の紹介、「本の世界を広げよう」ではジャンル別に整理された読書案内が掲載されている。 | |
| | | |
| 資料 | ○巻頭折り込の「思考の地図」や巻末「学習を広げる」はわかりやすくまとめられた資料になっている。 ○説明的文章に模式図、地図、写真、表、グラフなどを用いた文章を掲載し、文章と図表を結び付けて読む力を育成できる教材が豊富である。 | |
| 表記・表現 | ○漢字学習單元には豊富な練習問題が掲載されている。 ○学習用語を示し、文章理解に役だてる工夫がある。 | |
| 総括 | ○新学習指導要領に示されている「主体的・対話的で深い学び」が実現できるような工夫された言語活動等が適切に配置されている。情報の扱い方に係る教材、資料も充実していて論理的思考力を育むことができるようになっている。 | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【書写】

| 書名 項目 | 新しい書写 | 2 東書 |
|----------|--|---------|
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○各単元で目標から振り返りまでのねらいが焦点化され、何を学ぶのかを理解しやすく構成している。</p> <p>○毛筆では穂先の動きを朱墨の濃淡で示し、視覚からの理解も深まる工夫がされている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○書体の比較により差異について考えさせるなど、学習のポイントを意識できるように構成している。単元末では演習を交えながら生活に生かせる工夫をした構成をしている。</p> <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○導入では硬筆文字から課題を見いだす工夫がある。単元末では学んだことの対話的な振り返りを設定し、より深い理解ができる。またデジタルコンテンツにより動画などを用いて主体的学びをサポートしている。</p> <p>〈毛筆と硬筆との関連〉</p> <p>○硬筆文字を導入で取り入れ、毛筆で書いて確認ができる。「書写のかぎ」では文字の大きさや、配列、字形などのポイントをイラストや図版を設けて、毛筆に活かせるような工夫がされている。</p> <p>〈各教科や社会生活との関わり〉</p> <p>○文字の成り立ちの知識や手紙の書き方、防災、安全、キャリア教育、人権、福祉など現代的な問題に対応した課題設定がされており、学びの広がりが工夫されている。</p> | |
| 資料 | <p>○姿勢、筆記具の持ち方、用具の扱い方を写真や図で示している。またイラストなども取り入れており、生徒が関心を持てるような工夫されている。</p> <p>○漢字一覧表には楷書・行書が示されている。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○毛筆手本の中心や筆脈や点画のつながりなど筆使いのポイントが実線や点線などで示されおり、視覚的に見やすい工夫がされている。</p> <p>○目標が明示され、何を学ぶのかを分かりやすい工夫がされている。また、イラストや写真を用いて、視覚的にも見やすい配慮がされている。</p> | |
| 総括 | <p>○教材ごとに目標から振り返りまで一貫しており、ねらいが焦点化されている。対話的な振り返り活動を設定し、生徒自身が学び合えるよう工夫している。「文字のいずみ」では、漢字の成り立ちや変遷など文字文化に親しめるような工夫をしている。紙面はすっきりとまとめられており、視覚からも見やすいよう工夫している。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【書写】

| 書名 項目 | 現代の書写 | 15 |
|----------|---|-----|
| | | 三省堂 |
| 内容 | <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各単元の最初では、学習内容が一目でわかるように目標とポイントが示されており、指を使ってポイントを確認できるように工夫されている。 ○書くときの姿勢や筆記具の持ち方のほか、毛筆では用具の置き方や墨のすり方、用具の片づけ方も写真で示されている。 | |
| | <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「見つけよう・考えよう」の問いによって、文字の書体を比較しながら単元の課題を意識して学習を進められるようになっている。 ○各学年の最後の部分に配置されている「やってみよう」において実生活に役立つ教材を取り上げている。 | |
| | <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○全ての教材に学習目標と振り返りが設置され、主体的な学びに取り組めるための工夫がされている。 ○デジタルコンテンツにより動画を見ることができると、主体的な学びをサポートする教材が配置されている。 | |
| | <毛筆と硬筆との関連> ○楷書や行書の筆づかいが図や解説で丁寧に説明されており、「書いて身につけよう」など硬筆を学習するページが多く用意されている。 | |
| | <各教科や社会生活との関わり> ○手紙の書き方や時候の挨拶、願書の書き方等、実生活に生かせる教材が豊富に用意されている。 | |
| 資料 | ○姿勢・筆記具の持ち方のほか、用具の置き方、文房四宝など文字文化に関わる内容を写真や図で示している。 ○巻末の「資料編」では、日常の書式がまとめて見られるようになっている。また、楷書と行書の一覧表が五十音順で示されている。 | |
| 表記・表現 | ○毛筆手本の中心が記号で示されている。さらに、筆使いのポイントが、記号や点線、穂先がわかる濃淡等で示されている。 ○色覚の特性による見え方の差が少ない色を使用している。 | |
| 総括 | ○教材ごとの学習内容や目標、学習ポイントが明確に示されている。さらに、ワークシートとして硬筆で書き込めるページが豊富にあり、字の書き方を継続的に学ぶことができる。各学年の最後や「資料編」の中には、文字文化に関わる教材や実生活に生かせる教材が豊富に用意されており、それらを自主的に学ぶことができる構成になっている。 | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【書写】

| 書名 項目 | 中学書写 | 17 |
|----------|---|----|
| | | 教出 |
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○書くときの姿勢、用具の置き方等について写真で示されている。基本点画については穂先に朱墨を付けて書いた濃淡で示してあり、筆の運び方がわかりやすくなっている。教材ごとの目標が簡潔で理解しやすい。</p> | |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○「考えよう」では、文字同士を比較して考える学習をすることができる。</p> <p>○「学習を生かして書く」では、毛筆で学んだことを硬筆に生かす等、基礎的な学びを生かして書くなどの表現活動ができる構成をしている。</p> | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」の四段階で学習手順が明確化されており主体的な学びに取り組むことができる。デジタルコンテンツによって動画を見ることができ、主体的な学びをサポートしている。</p> | |
| | <p>〈毛筆と硬筆との関連〉</p> <p>○基本点画の書き方が丁寧に解説されており、「生かそう」で毛筆での学びを生かしながら硬筆を行えるような工夫をしている。</p> | |
| | <p>〈各教科や社会生活との関わり〉</p> <p>○いくつかの教科についてノートまとめの例が載っており、また手紙の書き方、願書の書き方等が手本として載っているため実生活に生かしやすい。</p> | |
| 資料 | <p>○姿勢と用具の使い方、基本点画が写真で示されている。</p> <p>○「コラム」で文字文化に関する写真を多く示している。また、日常生活での活用例も具体的な生徒作品を用いて写真で紹介している。</p> <p>○巻末には楷書と行書で書かれ部首によって分類された漢字一覧表がある。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○文章表現が簡潔であり、伝わりやすい。</p> <p>○筆使いのポイントが、記号や矢印、朱書きの濃淡、穂先の写真などで視覚的に示されている。</p> <p>○色覚等の特性をふまえた、判別しやすい配色で構成されている。</p> | |
| 総括 | <p>○「学習の進め方」が明確にされている。教材ごとに全体の目標を確認した後、「考えよう」で自分の課題を確認し、「生かそう」で活用し、「振り返ろう」で次への課題が確認できるようになっている。身近なクラス旗や看板、さらには書の古典の鑑賞など、文字文化に関わる様々な作品が取り上げられている。実生活に活かすための課題も多く取り上げられている。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【書写】

| 書名 項目 | 中学書写 | 38 |
|----------|--|----|
| | | 光村 |
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○各教材で「学習の窓」を設定し、文字を書く際の基本ポイントを整理している。毛筆では筆脈を朱墨や実線・点線などで示し、視覚から理解が深まるような工夫がされている。</p> | |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○「考えよう」の問いにより、文字の観察や比較をすることでその差異に気づき、学習のポイントを見つけられよう構成している。また、単元末には表現する活動に取り組めるよう構成している。</p> | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○各教材で「考えよう」「確かめよう」「生かそう」と3つのステップを軸にし、見通しが持ちやすい工夫がされている。またデジタルコンテンツにより動画などを用いて主体的な学びをサポートしている。</p> | |
| | <p>〈毛筆と硬筆との関連〉</p> <p>○毛筆で学んだことを生かし、振り返りで硬筆を書く練習を設定している。「書写ブック」では硬筆課題が豊富に展開されており、反復練習ができるようになっている。</p> | |
| | <p>〈各教科や社会生活との関わり〉</p> <p>○「日常に役立つ書式」として手紙やはがき、願書の書き方など生徒にとって身近なテーマ設定がされている。</p> | |
| | | |
| 資料 | <p>○姿勢、筆記具の持ち方、用具の扱い方が写真や図で示されている。また、イラストなども取り入れており生徒が関心を持てるよう工夫されている。</p> <p>○「コラム」では、文字文化に対する資料が掲載され、文字に親しめるような工夫がされている。写真やイラストも多様で視覚的にもわかりやすい工夫がされている。</p> <p>○漢字一覧表には楷書・行書が示されている。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○学習の指示は簡潔でわかりやすく明確である。書体も視覚的に見やすい工夫がされている。</p> <p>○筆使いのポイントが朱書きや点線により見やすく掲載されている。</p> | |
| 総括 | <p>○各教材で学び方が3つのステップに統一され、学習の仕方に見通しが持てる工夫がされている。また学習の目標が簡潔に提示されているので、何を学ぶのかを明確に捉えることができる。イラストや写真も工夫されており、生徒の興味関心を高める工夫がある。日常生活へのつながりを意識した教材を通して、文字に対する意識の向上につなげることができる。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【地理的分野(社会)】

| 書名 項目 | 新しい社会 地理 | 2 東書 |
|----------|---|---------|
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○問いを軸に導入・展開・まとめへと単元を構造化し、課題解決的な学習を重視した紙面構成となっている。</p> <p>○本文と関連する内容や技能を「地理にアクセス」や「スキル・アップ」などでコラムとして取り上げ、地理の学習を進めていくうえでの基礎的・基本的な技能を身につけさせる工夫が見られる。</p> | |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○各授業のまとめとして、基礎基本の確認を行う「チェック」と要約や説明をする言語活動の「トライ」の2段階で学習課題を解決できるようにしている。</p> <p>○まとめの活動において、ベン図やくらげチャートなど様々な思考ツールを用いながら、主体的に思考判断した内容を適切に表現できるようになっている。</p> | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○導入の活動とリンクしたまとめの活動を予告することで、単元の見通しをもって学習に取り組めるようになっている。</p> <p>○教科書全体を貫くテーマとして「SDGs」を意識した構成となっており、「もっと地理」というコーナーを中心に世界や日本の課題に対する取り組みについて紹介をしている。</p> | |
| | <p>〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉</p> <p>○単元全体を貫く「探究課題」の設定により課題をつかみ、1時間ごとの「学習課題」を解決していくことで、探究課題の追究をすることができるように工夫されている。</p> | |
| 資料 | <p>○章の導入において小学校で学んだ用語やこれから学習していく内容についての写真が掲載されている。</p> <p>○資料掲載部分に薄い色をつけることで、本文との区別を視覚的に判断しやすくなっている。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○地理・歴史の学習内容と特に関連が強い内容に分野関連マークが付けられている。</p> <p>○他教科と特に関連が強い内容について教科関連マークが付けられている。</p> <p>○本文と資料を結びつけるための「図番号」により授業で指示を出しやすくなっている。</p> | |
| 総括 | <p>○「なぜ」という問いを立てて、それを答える作業を通して、課題に対して様々な視点を持って柔軟に解決していけるよう工夫されている。</p> <p>○豊富なアイコンによって視覚情報がすぐに目に入るよう工夫されていたり、本文にキャラクターをなくしたり、学習内容に集中できるようにするなど学びやすくするための工夫が多く盛り込まれている。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【地理的分野(社会)】

| 書名 項目 | 中学社会 地理 地域に学ぶ | 17 |
|----------|---|----|
| | | 教出 |
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○写真・地図の導入から学習の見通し、学習のまとめへと本文と資料がバランスよく構成されているため、主体的に学びやすくなっている。</p> <p>○「地理の技」というコーナーを設け、生徒に身につけさせたい地図やグラフの扱い方などを必要に応じて習得できるよう工夫している。</p> | |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○「読み解こう」で写真・地図・グラフなどの多様な資料の読み解きについて、問いを手がかりに取り組むことができ、資料を活用して考え、まとめる力の育成に役立てようとしている。</p> <p>○1時間の学習の振り返りとして、意見を交換するための課題が設定されており表現力などを育成しようとしている。</p> | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○章・節の扉ページにURLとQRコードの「まなびリンク」が設けられ、教育出版のサイトから、学習に役立つ様々な情報にアクセスすることが可能であり、生徒が主体的に学習をすすめるための工夫が見られる。</p> <p>○特設ページでは、世界の各州や日本の各地方の事例を基に、地域づくり、多文化共生、社会参画などを考えることができる話題とともに、個人やグループで学びを深めることができる「Q」を最後に設けることで、学びの深化を促している。</p> | |
| | <p>〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉</p> <p>○見開き2ページを1時間の構成で、見開きごとに「学習課題」と「確認/表現」を設け、生徒が他者と意見交換したり、主体的に学習に取り組んだりすることで、学びが深まるように工夫されている。</p> | |
| 資料 | <p>○世界と日本の学習のあいだに折り込み資料として8ページに渡る、資料性の高いグラビアページが入っている。</p> <p>○キャラクターの言葉によって導入資料の見方のヒントを提示している。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○図やグラフなど、教科書中の表現には、カラーユニバーサルデザインを取り入れている。</p> <p>○本文や注など、教科書中の文章には、ユニバーサルフォントを使用している。</p> <p>○本文と資料の関連を番号で示している。</p> <p>○各章ごとに見出しの色を統一することで区切れをわかりやすくする工夫が施されている。</p> | |
| 総括 | <p>○授業1時間ごとの見通し・振り返りに加えて、節・章といったまとまりでも見通し・振り返りをすることで知識・技能とともに見方・考え方を働かせる力が身につき、学習が深まるよう工夫されている。</p> <p>○小学校や高等学校との連携を意識した紙面作りとなっており、小中高の接続やユニバーサルデザインといった学習者への配慮が多く取り入れられている。</p> | |

(別紙様式)

第13 採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【地理的分野(社会)】

| 書名 項目 | 社会科 中学生の地理 | 46 |
|----------|---|----|
| | 世界の姿と日本の国土 | 帝国 |
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○本文記述において具体的な例示が多く、地理的事象の背景や因果関係までわかるようにしたりするなど、幅広い知識と教養を無理なく身につけられるよう工夫されている。</p> <p>○資料の読み取りやグラフの作成力を伸ばすため、「技能をみがく」というコーナーが23テーマ設けられ、学習内容に応じて、適切な技能を習得できるように教科書内での配置を工夫している。</p> | |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○「確認しよう」では、学習課題に対しての振り返りとして、本文や図版から、学習上大切な事項を書き出す作業を行い、「説明しよう」では習得した知識を活用し思考力・判断力・表現力の育成を促している。</p> <p>○各章末に「章(節)の学習を振り返ろう」では、地域的特色をまとめた上で、それらの課題を通して持続可能な社会に向けた構想を、自分たちの生活と関連付けながら話し合えるようにしている。</p> | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○世界と日本の諸地域学習の冒頭に「序説」を設置し、地域的特色を追求する際の視点と地域的課題・地域の間接関係を端的に示している。</p> <p>○巻頭ページで地理的分野の学習全体を通して持続可能な社会の実現を意識づけるため、SDGsに関する世界の事例を紹介している。また、日本の諸地域の節末に「地域の在り方を考える」を設置し、SDGsに関連した地域の取り組みを紹介している。</p> | |
| | <p>〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉</p> <p>○節や章の冒頭で単元を貫く問いが設けられ、その問いを受けて毎回の授業での学習課題が設定されているため、見直し・振り返り学習を積み重ねることで、課題を追究していけるように構造化されている。</p> | |
| 資料 | <p>○資料の巻頭で地理的な見方・考え方とは何かが端的に理解できる事例をのせることで、地理を学習する上での視点がまとまっている。</p> <p>○各地方で注目する視点に関わる写真を大きく掲載し、よりイメージをともなって地域の特色が概観できるようになっている。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○本文の記述を補足する写真や図版などが大判で豊富に掲載されている。</p> <p>○学習内容に関連する事項についての参照ページ、図番号などのリンク機能が設けられている。</p> | |
| 総括 | <p>○異文化理解・国土理解に重きを置いた誌面構成となっており、グローバル化する国際社会の中で生き抜くために、各地で見られる諸課題の解決に向けて、主体的に学習が進められるよう多面的・多角的な視点で教科書を構成している。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【地理的分野(社会)】

| 書名 項目 | 中学社会 地理的分野 | 116 |
|----------|---|-----|
| | | 日文 |
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○「学習課題」と「確認」で見通しから振り返りまでを原則見開き2ページで構成している。また、課題解決の手がかりとして「見方・考え方」というコーナーが設けられ、ここを手がかりに学習を進めていくことができるようになっている。</p> <p>○「スキルUP」というコーナーを設定し、生徒の発達の段階に応じて、系統的に地理的技能を身につけられるよう工夫している。</p> | |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○発達段階に応じて、シンキングツールを体系的に設定し、個人やグループで課題を追求する場面など、様々な場面で活用できるように工夫している。</p> <p>○ふりかえりページで「アクティビティ」や「チャレンジ地理」という項目を設け、ウェビングマップやディベートなど具体的な課題を自ら調べたり議論したりできるようになっている。</p> | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○導入ページにおいてクイズを設定し、その州で追究する主題やその地方で用いる考察の仕方に深くかかわる写真を読み取ることで、主体的に考えることを促そうとしている。</p> <p>○「声コーナー」を設け、世界や日本の人々の生活の様子が読み取れる写真とともに、実際にそこに住む人々が生徒に語りかける言葉として書かれている。</p> | |
| | <p>〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉</p> <p>○導入→大観→主題学習・動態地誌的学習→ふりかえりまでの活動を通して、単元や教科書全体を大きく捉え、生徒が主体的・対話的で深い学びを実現できるよう工夫されている。</p> | |
| 資料 | <p>○全州・全地方で統一した体裁・配置・サイズで掲載されており、州・地方内での対比や他の州・地方との比較が可能となっている。</p> <p>○巻頭口絵において「位置や分布」「場所」「人と自然とのかかわり」など地理的な見方・考え方を働かせるものになっている。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○「デジタルマーク」によって学習内容の理解を助ける画像や動画にQRコードでアクセスすることができる。</p> <p>○章の導入ページで小学校社会科の学習内容を示したり、歴史・公民と関連した教材を多数掲載したりしている。</p> <p>○小学校6年生以上で学習する漢字と重要語句のすべてにルビをつけている。</p> | |
| 総括 | <p>○新学習指導要領で示された、5つの地理的な見方・考え方を意識した構成となっており、常に学習者が何を意識して学んでいるかがわかりやすくまとめられている。</p> <p>○東京オリンピック・パラリンピックをはじめとした最新のトピックや今日的な課題の具体的事例が豊富に掲載されているため、深く学ぶことができる。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【歴史的分野(社会)】

| 書名 項目 | 新しい社会 歴史 | 2 |
|----------|--|----|
| | | 東書 |
| 内容 | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○見開きを1単位時間とし、「導入資料」「学習課題」「本文」「課題解決(チェック&トライ)」の流れで構成されている。また「スキルアップ」によって技能の定着、「読み取る」「まとめる」で技能が活用できるように設定されている。</p> <p>○政治史・経済史だけでなく、文化史も多く取り扱い、伝統や文化を通じて現代との繋がりを考えられるようにしている。また、小学校の学習事項が年表に位置付けられている。</p> | |
| | <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○学習の過程に「見方・考え方」を設けることにより、歴史学習について自ら思考できるように工夫がされている。</p> <p>○小集団での対話を想定した「みんなでチャレンジコーナー」を設け、対話的な活動が効果的に行えるようにしている。</p> <p>○「まとめ活動」では思考を整理するツールが活用出来るようにされている。</p> | |
| | <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○環境・人権・伝統・防災・情報など、5テーマで全体を貫き、歴史学習を通して現代的な諸課題を意識できるよう留意して構成されている。また、近現代では「持続可能な開発目標」を取り上げ、現代の課題の解決について直接的に解決しようとする態度を養う工夫をしている。</p> <p>○世界や日本の文化遺産にマークを入れたり、「人物コラム」を随所に設けたりすることで、我が国の歴史に対する理解や、郷土にゆかりのある人物を意識できるよう工夫されている。</p> | |
| | <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <p>○導入で単元全体を貫く「探求課題」を決め、小單元ごとに学習課題を解決、まとめの活動では探求課題を解決する構成となっており、課題解決に向けた工夫がなされている。また、「みんなでチャレンジ」では、対話的な学習の場面が設定されている。</p> | |
| 資料 | <p>○見開きの左上部に導入、中心となる資料が大きく掲載されている。</p> <p>○ページ毎に本文を囲むように資料が掲載されており、「見方・考え方」によって資料の読み解き方が提示されている。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○各項目の見出し、資料名、重要語句等は太字で表記されている。また見開きページ左下には時代のスケールがある。</p> <p>○文体は敬体で、本文中に関連資料のページが添えられている。</p> <p>○UDフォントで印字されている。</p> | |
| 総括 | <p>○紙面はA B版である。</p> <p>○導入で課題をつかみ「探求課題」を設定し、学習の展開を通じてその課題を解決していく構成となっている。また、探求課題の解決を補助する「探求のステップ」を設け、より深く課題を追及できる工夫がされている。小学校で扱った内容が明示されており、小中接続の観点から見た時に工夫が為されているといえる。二次元コードを用いたネットの活用も配慮されている。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【歴史的分野(社会)】

| 書名 項目 | 中学社会 歴史 未来をひらく | 17 |
|----------|--|----|
| | | 教出 |
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○見開きを1単位時間とし、本編ページの最後に「確認」を設け、学習したことを整理しながらまとめ、学習事項の確実な定着が出来るよう工夫されている。</p> <p>○個人または班学習で扱いながら、小学校の基礎と中学校社会科で必要とされる技能を身に着ける為に「歴史の技」コーナーを設け、技能が高められるようにしている。</p> | |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○「確認」で学習を整理した後に、「表現」のコーナーで、学習した事項に対して自らの考えを理由を交えながら表現できるように工夫されている。また、「Q」のコーナーを適宜設け、史料を読み取り自ら思考する力が身に付くように考慮されている。</p> | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○各章の通史学習においては、導入の資料を大きく掲示し、生徒自らが資料を読み取り、章の学習の見通しが持てるよう工夫されている。</p> <p>○日本の祭りや芸能、人権の獲得に関わった人々等を地理的分野とも関連させながら記述し、人権確立の流れが分かるよう工夫されている。また、「地域調査の手引き」により身近な地域の歴史や現状、課題について関心が高まるよう工夫されている。</p> | |
| | <p>〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉</p> <p>○導入で位置付けた「学習課題」を受けて、学習の最後に位置付けられた「確認/表現」の問いに取り組む事で、知識・理解の確認や表現活動を行い、他者との意見交換をしながら更に課題を深められるように工夫している。</p> | |
| 資料 | <p>○資料には通し番号が振られ、本文と対照がしやすいように留意されている。</p> <p>○ページ毎に本文を囲むように資料が掲載されており、資料に吹き出しを付け、疑問点や解説が掲載されている。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○固有名詞や社会科特有の表現については振り仮名を付け、側注には用語解説をつけることで、読み手の負担軽減を図る工夫がされている。</p> <p>○本文は敬体で表記され、参照ページが設けられている。また、UDフォントが使用されている。</p> | |
| 総括 | <p>○紙面はA B版である。学習課題と並んで年表が載せられており、これから学習する事柄がいつの時代なのかが分かりやすく工夫されている。また、索引が人名と事項に分けられており、学習者が調べやすいように留意されている。小学校での学習内容や資料については「小学校」との小見出しが付けられており、小学校での学習との連続性や移行が考慮されている。全体に問題解決的な学習方法が基調とされており、本文や側注に数多くの発問が設けられており、社会の変化や課題の解決に向かう力の育成に向けた工夫がなされている。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【歴史的分野(社会)】

| 書名 項目 | 社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き | 46 |
|----------|--|----|
| | | 帝国 |
| 内容 | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○見開き1単位時間とし、導入・学習課題・本文・振り返りの「確認しよう」「説明しよう」の展開で全て構造化されている。</p> <p>○節の冒頭に資料や学習を概観する「タイムトラベル」を置き、章の最後に「章の学習を振り返ろう」を置き、学習内容を振り返り知識を定着できるよう工夫がされている。また、基礎的な技能が習得できる「技能をみがく」コーナーが設けられている。</p> | |
| | <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○「タイムトラベル」で異なる時代を比較・考察し、思考を養う工夫がされている。</p> <p>○「確認しよう」では本時の習得事項の確認、「説明しよう」では、習得事項を生かして思考するように促す設問が設定されており、自分で判断・表現するように工夫されている。また、章の始めの問いは時代の特色を論理的に説明する際の手がかりとなるように工夫されている。</p> | |
| | <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○「タイムトラベル」の中に地図帳の索引記号の様な「さくいんグリッド」を設けたり、「次の場面を探してみよう」で場面を焦点化することで時代の特徴をつかみ、主体的に学習に取り組める工夫をしている。</p> <p>○中学生のキャラクターが発問や気づき、学習の手がかりや示唆等を提示することで、主体的に学習に取り組めるように工夫している。</p> | |
| | <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <p>○単元を貫く「章の問い」「節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、節末・章末の振り返りと、問いを構造化し、単元を通じそれぞれの問いに答え、課題解決的な学習ができるよう工夫されている。</p> | |
| 資料 | <p>○見開きの左上部に導入、学習の中心となる資料が学習課題とともに大きく掲載されている。</p> <p>○ページ毎に、本文を取り囲むように資料が配置されている。また、資料の読み取りの為に、吹き出しや「資料活用」が随所に設置されている。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○各項目の見出し、学習課題・重要語句・「問いを振り返ろう」等が太字で掲載されている。また、本文はUDフォントが使用されている。</p> <p>○各見開きの左側に年表インデックスが設けられており、古代～現代のスケールの中で、学習している時代の位置づけが分かるよう工夫されている。</p> <p>○本文は敬体で、側注解説の対応番号や解説がある事が明示されている。</p> | |
| 総括 | <p>○紙面はA B版である。</p> <p>○主要な12時代の見開きイラスト「タイムトラベル」を設けることで、政治・経済・文化を把握し時代の特色を掴んでから授業に進むよう工夫がされている。また、地域史の記述を充実させ、当時の社会を地域の視点から見て、日本史を多面的にみられるよう工夫している。章末に振り返りを設置し、深い学びに繋がるよう留意されている。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【歴史的分野(社会)】

| 書名 項目 | 中学歴史 日本と世界 | 81 |
|----------|---|----|
| | | 山川 |
| 内容 | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○見開きを1単位時間とし、知識・技能の習得に向けて「導入の発問」「本文」「ステップアップ」による振り返りという構成で統一されている。また世界史に関する記述を多く設け、歴史全体の流れをつかめるようにしている。</p> <p>○各章の「まとめ」には学習してきた知識や資料を用いて記述する課題が設けられており、調べたりまとめたりする技能が身に付くように工夫されている。</p> | |
| | <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○導入の発問・「ステップアップ」の課題・図版に付した課題など、各所に課題が設けられており、発問に対して考え、判断する力が身に付くよう工夫されている。</p> <p>○話し合い活動に向けた発問が「歴史を考えよう」「地域からのアプローチ」で設けられており、グループ活動を通して歴史の思考力が高められるよう工夫されている。</p> | |
| | <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○発問を随所に設けることにより、注目すべき内容や考えるべき内容を自ら考えることを促す内容構成となっている。</p> <p>○地域を通じた歴史学習の為に「地域からのアプローチ」を設け、歴史や文化財保護を取り上げることで、歴史を学ぶことの意義を考えさせるよう工夫している。また、「歴史へのアプローチ」では少数民族の文化や世界と日本の関係の内容を深めるものとなっており、歴史を多角的・多面的に見るための工夫が為されている。</p> | |
| | <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <p>○本文を、因果関係を意識した記述とすることで、歴史の事象を分かりやすくし、その事象がどのような背景で起き、どのような影響を及ぼしたのかを考えさせる発問を設け、課題解決に向かわせる工夫をしている。</p> | |
| 資料 | <p>○見開きの左上部に導入、中心となる資料が大きく掲載されている。またページ毎に本文を囲むように資料が掲載されている。</p> <p>○用語解説を欄外に設け、史料については口語訳として中学生にも理解し易いよう工夫されている。また、二次元コードでネットを扱いやすく工夫している。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○図版や資料に番号を付し、本文と関連付けるようにしている。また、地図・グラフなどはユニバーサルデザインに配慮した配色としている。</p> <p>○本文は常体で記され、参照ページが設けられている。固有名詞・歴史用語にはすべて読み仮名をふり、文字はUDフォントを使用している。</p> | |
| 総括 | <p>○紙面はA B版である。</p> <p>○各単元の冒頭に発問を設け、単元の中で何を学ぶのかを明確にしている。また、図版の中にも発問を設けることで、資料のどの部分に注目すべきかを分かるように工夫がされている。全体に中高の接続に留意されており、高校教科書で用いられている史料や図版を、中学生にも分かりやすい形でアレンジして掲載している。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【歴史的分野(社会)】

| 書名 項目 | 中学社会 歴史的分野 | 116 |
|----------|--|-----|
| | | 日文 |
| 内容 | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○見開きを1単位時間とし、導入資料、「学習課題」、本文、「深めよう」、「確認」で構成されている。また、見方・考え方を提示し学習課題を考えるにあたっての着眼点を提示している。</p> <p>○年表や地図を用いて振り返りの出来る「学習の整理と活用」を設け、その中で「めあて」に対する学習成果が確認できるようにしている。</p> | |
| | <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○「深めようコーナー」を設け、習得した知識を活用して、課題について思考を深め、自分の言葉で表現できるよう工夫されている。</p> <p>○各時代のまとめにおいて、これまでの学習内容を用いて時代を捉える「アクティビティ」を設け、併せて課題解決に向けてのステップを設けることで、主体的に思考して記述できるようにしている。</p> | |
| | <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○現代的な諸課題の歴史的背景や、解決に取り組んだ先人の解説と、諸課題の解決に向けた態度を養うことを目的とした「『歴史との対話』を未来に活かす」が設定されている。</p> <p>○テーマ別索引を設けることで、自ら選んだ課題学習に取り組みやすいよう工夫がされている。また、「歴史との対話を未来に活かす」では、災害・政治参加・世界平和について考える学習課題が示されている。</p> | |
| | <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <p>○各時代の学習において生徒が学習課題を明らかにできるように構成し、写真資料は過去と現代の物を並列して載せる等して、比較の視点で課題を追究できるように工夫されている。また、導入に対応する形で「アクティビティ」が設けられており、課題解決型学習がしやすく工夫されている。</p> | |
| 資料 | <p>○見開きの左上部に導入、中心となる資料が大きく掲載されている。また、ウェブに掲載された資料には「デジタルマーク」が表示されている。</p> <p>○ページごとに上部、左右に本文を取り囲むように写真、挿絵、文書資料、系図、グラフ、地図などが掲載され、キャラクターが問いかけを行っている。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○見出し、学習課題、重要語句、確認は太字で掲載されている。</p> <p>○見開きページ右側に時代のインデックスが載っている。</p> <p>○本文は敬体で記載されており、参照ページが設けられている。文字にはUDフォントを用いている。</p> | |
| 総括 | <p>○紙面はA B版である。</p> <p>○資料をもとに歴史を考えさせる課題である「チャレンジ歴史」を各編に設け、興味をもって主体的に歴史が学習できるよう工夫がされている。また、各課題の中には意見交換を提案する吹き出しが設けられ、話し合い活動への促しや、表現力の育成が考慮されている。導入の年表には小学校で学んだ人物や文化遺産が確認できるようにしている。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【歴史的分野(社会)】

| 書名 項目 | [最新] 新しい日本の歴史 | 227 |
|----------|--|-----|
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○つかむ、調べる、まとめる、表現するという一貫した流れで構成されており、問題解決型学習の教材配列となっている。○各章末の「学習のまとめ」では、年表の穴埋めやほかの時代との共通点・相違点などに着目できるような設問が設けられている。 | 育鵬社 |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○「歴史ズームイン」や「歴史ビュー」など、多様な資料をコラムとして紹介し、生徒が多面的・多角的に考察し、公正に判断できるよう工夫されている。○各章に「『私の歴史博物館』」をデザインしてみようというコーナーが設けられており、自分が歴史博物館の学芸員になったつもりで、各時代の展示物と展示方法を考えることで、自ら主体的に時代の特色を捉えられる工夫が見られる。 | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○各章に「歴史のターニングポイント」というコーナーが設けられ、生徒がもしその時、当事者だったらという意識で、歴史と向き合える工夫が見られる。○神話や和歌、建築物、彫刻など日本の伝統文化や現代に伝わる文化遺産を尊重する題材を多彩な資料とコラムで取り上げている。また、歴史にみられる国際関係や文化交流について、具体的な事例を多数紹介している。 | |
| | <p>〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○本文見開きページの最後に学習のまとめが設けられ、学習した内容をもとに話し合いができるよう工夫されている。○各章冒頭に「○○の世界へようこそ！」で、章の課題を主体的に解決できるよう工夫されている。 | |
| 資料 | <ul style="list-style-type: none">○掲載資料のいくつかは実寸で記載している。○写真や絵画などの着眼点に番号をつけて、どこにどのようなものがあるかがわかりやすくしている。 | |
| 表記・表現 | <ul style="list-style-type: none">○重要な語句の意味を簡潔に確認できるようになっている。○見開き冒頭に複数の資料を掲載し、生徒が興味関心を持って学習できるように工夫している。○本文は敬体で記されている。 | |
| 総括 | <ul style="list-style-type: none">○教科書の紙面は、AB版が採用されている。○小学校社会科や地理分野の学習を生かしつつ、社会的事象を歴史的な見方・考え方を踏まえて多面的・多角的に考察したり、説明したりする力を養うための言語活動が豊富に盛り込まれている○「このころ世界は」というコーナーが各章の最初に設けられ、世界の歴史との関わりを意識した誌面構成となっている。 | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【歴史的分野(社会)】

| 書名 項目 | ともに学ぶ 人間の歴史 | 229 |
|----------|---|-----|
| | | 学び舎 |
| 内容 | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○見開きを1単元とし、導入資料、「学習課題」、本文、参考資料で構成されている。また、「地域の博物館で調べる」でインターネットや博物館を利用した調べ学習・体験者からの聞き取り討論の方法が紹介されている。○章末に「学習のまとめ」を設け、知識の確認や、資料を読み取る技能の習得ができるよう工夫されている。 | |
| | <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○章末の学習のまとめ「章の振り返り」では、章の学習全体を振り返り、自分の言葉でまとめる課題が設けられており、生徒自身の言葉で表現するようにしている。また、グループ活動で深められる教材も用意されている。○各章の始めに、年表・資料・地図を用いて時代を概観できるようになっており、生徒自身で考え学習の見通しを持てるよう工夫されている。 | |
| | <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○インターネットを用いて関連する資料が検索できる手引きが記載されており、進んで学習を深め、主体的に取り組めるよう工夫されている。○時代ごとのトピックや風俗を、親しみやすい形で章ごとの導入部分に盛り込むことで、過去の人々と現代に生きる人々との同時代性を感じられるように記述されている。 | |
| | <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <ul style="list-style-type: none">○各章の始めに単元を貫く学習課題を置き、章末のまとめではそれら学習課題に対応した課題を考えることで、更に追及したり深めたりできるようにしている。○現代史を充実させ、歴史と今日的課題を結びつけ、公民学習へ接続している。 | |
| 資料 | <ul style="list-style-type: none">○見開きの左上部に中心となる資料が大きく掲載されている。○ページごとに、上部、左右に本文を取り囲むように写真、挿絵、文章資料、系図、グラフ、地図などが掲載されている。 | |
| 表記・表現 | <ul style="list-style-type: none">○重要語句は本文中に太字にはせず、本文の左右に資料とともに掲示されている。○本文は敬体で表記されている。○使用する学年に合わせ表現・表記を変えている。 | |
| 総括 | <ul style="list-style-type: none">○紙面はA版である。○章の始めに年表・図版・表・グラフなどを用いた時代の概観図を設けることで、時代の様子や学習課題に対する答えを予想できる構成としている。見開き小単元の末にコラムや資料が載っており、そこから学習を深めさせようという工夫がある。巻頭に古代から現代までの概観と、歴史の学習方法の説明が記述されており、年表に記述する作業活動により、歴史学習の全体を把握できるようにしている。 | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【公民的分野(社会)】

| 項目 | 書名 | 2 |
|-------|--|----|
| | 新しい社会公民 | 東書 |
| 内容 | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○学習内容が見開き2ページで構成され、はじめに「学習課題」、終わりにまとめの「チェック」を設け、本文からの抜き出しの形で学習内容を確実に理解するようにしている。</p> <p>○章の終わりの「基礎・基本のまとめ」により、重要語句の確認やワーク問題があり、知識及び技能が習得できるように工夫されている。</p> | |
| | <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○見開き右下に掲示されている「トライ」には、学習課題を自分の言葉で説明する形であり、思考力、判断力、表現力等を育成する形となっている。</p> <p>○思考力、判断力、表現力等を効果的に育成するために、現代社会の見方・考え方を活用して考察する場面を示した「見方・考え方」や、協働的な活動を行う「みんなでチャレンジ」が設定されている。</p> | |
| | <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○本文の学習内容を補完する「公民にアクセス」を設け、関連する知識を習得できるようにしている。また生徒にとって興味・関心を喚起する「ティーブレイク」を適宜設け、学びに向かう力を高めるように工夫している。</p> <p>○「18歳へのステップ」では、「選挙の流れ」や「契約のあれこれ」など、選挙権年齢や成年年齢の引き下げを受けて、18歳に向けて準備するページがあり、学びに向かう力や、人間性を涵養するための工夫がある。</p> | |
| | <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <p>○「みんなでチャレンジ」ではグループで協力しながら取り組む対話的な活動のコーナーがあり、課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫が見られる。</p> | |
| 資料 | <p>○巻頭では「持続可能な社会の実現に向けて(これからの社会を考える)」、巻末では「持続可能な社会の実現に向けて(これからの自分を考える)」を掲載し、伝統と文化を尊重し、人権の尊重や環境の保全、国際社会の平和と発展を目指すことの重要性を意識させるようにしている。</p> <p>○統計・資料や日本国憲法をはじめ、関連する法令集、解説・さくいんで用語解説が掲載されている。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○本文はUDフォントを採用し、重要語句は太字である。本文中にp.〇〇と示し、関連事項が分かるようにしている。</p> <p>○本文の補足資料について白抜き数字を示し、関連資料と関連付けている。</p> | |
| 総括 | <p>○紙面はAB版である。学習課題に対して、教科書のキーワードや本文の抜きだしを使って説明する、共通点や相違点に着目して説明するなど多様な振り返りをするように工夫している。身近な事例を基に見方・考え方を働かせて現代社会の課題を追究・解決できるよう「まとめの活動」が設定されている。そこでは、グループ学習を通して多面的・多角的に考察することで理解を深め、社会参画する態度を養うように工夫がされている。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【公民的分野(社会)】

| 書名 項目 | 中学社会公民ともに生きる | 17 |
|----------|--|----|
| | | 教出 |
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○学習内容を2ページで構成されており、「学習課題」に対応した「確認!」と「表現!」で学習内容の定着を図るようにしている。</p> <p>○章の終末には「学習のまとめと表現」があり、重要語句の確認やワーク問題、語句について文章化し説明させるなど、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫がされている。</p> | |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○「学習のまとめと表現」のステップ3で、説明や話し合いなどの言語活動を充実し、思考力等を高めようとしている。</p> <p>○「言葉で伝え合おう」の中で、ディベートやプレゼンテーション、ポスターセッションなど多様な表現活動を示している。</p> | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○コラム「公民の窓」「公民の技」「クリップ」を設け、学習内容に関する事項を掘り下げて、学習内容の理解を深め、学びに向かう力を高めようとする工夫が見られる。</p> | |
| | <p>〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉</p> <p>○「言葉で伝え合おう」「読んで深く考えよう」を学習した内容と関連付けながら主体的に活用することで、課題を追究・解決する活動の充実を図る工夫が見られる。</p> | |
| 資料 | <p>○巻頭では、「現代を生きる私たち」「公民の学習を始めるにあたって」が掲載され、世界で起きている事象と課題に触れさせることで生徒の公民への関心を寄せるようになっている。巻末では「持続可能な未来を目ざす人々」が掲載されている。また日本国憲法をはじめ、関連する法令集、用語解説と索引が掲載されている。</p> <p>○「まなびリンク」からウェブサイトを紹介して、関連サイトから情報や資料を収集することができるように工夫されている。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○本文は常体で、文章表現も容易である。重要語句は太字である。本文中にp.〇〇と示し、関連事項が分かるようにしている。</p> <p>○相互に関連するページが示されている。また、脚注で本文を補足する解説や、難しい語句の説明をするように工夫している。</p> | |
| 総括 | <p>○紙面はA B版である。巻頭で公民の学習方法として「公民のノートづくり」を示している。また、学習内容を象徴する主題と副題に置き、学習課題を明確に示して、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる構成としている。各章の学習のはじめに単元を貫く「学習課題」が提示され、それを解決するために学習を積み重ね、まとめの学習で振り返る流れとなっている。「公民の窓」では、日本や国際社会情勢についての認識を深めることで社会参画する態度を養うよう工夫されている。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【公民的分野(社会)】

| 書名 項目 | 社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして | 46 |
|----------|--|----|
| | | 帝国 |
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○見開き2ページの学習課題に対して、「確認しよう」「説明しよう」を設け、学習した基礎的・基本的な内容の理解を確認できるように工夫している。</p> <p>○章末には「学習をふりかえろう」を設け、ワーク問題等があり、基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫がされている。</p> | |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○「確認しよう」「説明しよう」は多面的・多角的な視点で自分の考えをまとめたり、表現したりする活動を促し、思考力、判断力、表現力等を育成するようにしている。</p> <p>○「アクティブ公民」や単元を貫く問いを考察する「章の学習を振り返ろう」が設定されている。</p> | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○各章の「学習の前に」では、イラストなどが効果的に活用され、章全体の見通しをもって学習に取り組むように工夫されている。</p> <p>○「章の学習を振り返ろう」において、意見交換を通して自分の考えを広げ、深めていく工夫がある。</p> | |
| | <p>〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉</p> <p>○「アクティブ公民」や「未来に向けて」で学習した内容と関連付けながら主体的に活用することで、生徒に課題を追究・解決する活動の充実につながる工夫がされている。</p> | |
| 資料 | <p>○巻頭に「よりよい社会をめざして」、巻末には、法令集の掲載、「防災・減災を通じた社会参画」が掲載されている。</p> <p>○二次元コードを利用することで、タブレットやPC等での資料の閲覧、動画の視聴、振り返り問題の解答確認ができるようになっている。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○教科書全体の紙面はUDフォントを使用している。</p> <p>○1単位時間の内容を補足する写真・図版資料を効果的に活用し、「確認しよう」・「説明しよう」を活用して、学習内容の確認と振り返りができるようになっている。</p> | |
| 総括 | <p>○最初に「学習のはじめに 夢にむかって」という記述があり、公民を学ぶ目的が記載されている。章のはじめには、単元を貫く「章の問い」が明示され、見通しをもって学習に取り組めるようになっている。「アクティブ公民」では、様々な立場の違いからの合意形成を目指す活動を通して、社会参画を目指す力を養うように工夫されている。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【公民的分野(社会)】

| 書名 項目 | 中学社会公民的分野 | 116 |
|----------|--|-----|
| | | 日文 |
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○学習課題に対して、見開き右下「確認」により理解を確かにする活動や、その知識を使って現実の問題に取り組む問いなどが示されている。</p> <p>○「情報スキルアップ」を設け、情報の読み取りや活用に必要な知識・技能を示している。また、「シンキングツール」が設定され、適宜、効果的に技能を身に付けられるように工夫されている。</p> | |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○毎時間の終末に学習課題の確認ができるように「言語活動コーナー」を設けるとともに、「アクティビティ」など適宜設け、思考力、判断力、表現力等を育成する学習を促している。</p> <p>○各章末に「チャレンジ公民」のページを設け、各章の学習内容に関する事例問題の学習を通して、思考力、判断力、表現力等を育成するように工夫している。</p> | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○コラム「公民プラスα」を設け、見開きページの学習内容に関する事項を掘り下げ、理解を深めることにより、学びに向かう力を高めるように工夫されている。</p> <p>○各編の導入では、見方・考え方を深める漫画が掲載されており、見通しをもって主体的に学習に取り組めるようになっている。</p> | |
| | <p>〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉</p> <p>○各編の冒頭に、その基本的な考えとなる「学習のはじめに」を設け、学習内容を広い視野から捉えるとともに、「明日に向かって」を適宜設け、課題を追究・解決する活動の充実を図る工夫が見られる。</p> | |
| 資料 | <p>○巻頭「これからの社会をどんな社会にしたい?」、巻末「日本の現代史年表」「日本の人口を100人に縮めてみると」を掲載し、巻末では、日本国憲法をはじめ、関連する法令集が掲載されている。</p> <p>○「デジタルマーク」の掲載ページは、ホームページから理解を補助する動画やワークシートを利用できるようになっている。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○教科書全体の紙面はUDフォントを使用し、重要語句は太字である。本文中にp.○○と示し、関連事項が分かるようにしている。</p> <p>○1時間単位の内容を補足する写真・図版資料を本文の周りに配置している。</p> | |
| 総括 | <p>○紙面はAB版である。考えや技能を応用することのできる特設ページとして「チャレンジ公民」「情報スキルアップ」が設けられ、学習内容の理解を助けるコラムやコーナーとして「公民プラスα」や「アクティビティ」がある。「学習の整理と活用」では「シンキングツール」を用いたグループ学習が示され、多面的・多角的に考察で学びを深め、何を学んだかを捉えることができる。「明日にむかって」では学習した内容を活かし地域の抱える課題や将来について考え、社会参画する態度を養うよう工夫されている。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【公民的分野(社会)】

| 書名 項目 | 新しい公民教科書 | 225 |
|--------------|---|-----|
| | | 自由社 |
| 内容 | <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○見開きページごとに「ここがポイント!」を設け、要点をまとめている。 ○各章の終末の「学習のまとめと発展」では、各章ごとの最重要語句として厳選して示し、基本的な知識の定着を図るようにしている。 | |
| | <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○各章の終末に「学習のまとめと発展」の中で、「学習の発展」として課題を文章表現するようにしており、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫がされている。 ○「もっと知りたい」では、それぞれのテーマについて異なる考え方を分けて示して、多面的・多角的な考察ができるように工夫している。 | |
| | <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「ミニ知識」による補足的な資料や、「もっと知りたい」では興味・関心に応じて学習内容を深め、学びに向かう力を育成するように工夫されている。 ○各章の「学習のまとめと発展」では章の学習を発展させるためにテーマを選択し、これまでの学習を活かしてまとめることで何を学んだかを捉えるように工夫されている。 | |
| | <課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫> ○歴史的な分野の背景を踏まえ、適宜、歴史上の人物を紹介しながら、課題を追究・解決する活動を充実するような工夫が見られる。 ○「アクティブに深めよう」では、各章ごとの課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫がされている。 | |
| | 資料 ○巻頭に「すごいぞ日本の技術は」で世界に誇る日本の先端技術が紹介されている。巻末には、法令集の掲載、「日本の伝統的工芸品」が掲載されている。 ○掲示する写真は大きく見やすい。グラフは目的に応じて折れ線・帯・円などとそれぞれ使い分け、読み取りやすくなっている。 | |
| 表記・表現 | ○本文は敬体で平易である。 ○各章の見出しは、白抜きで表記され見やすい。また、見出しの下に学習課題が提示され、重要語句は太文字で示されている。重要語句によっては、脚注で補足説明がなされている。 | |
| 総括 | ○紙面はA B版である。現代社会について、歴史的な分野と関連付けながら諸資料を活用して学習させるようにしている。各章末の「学習のまとめと発展」で、最重要語句を掲載し基礎的・基本的な知識・理解とあわせ、表現力等の充実を図っている。また、「もっと知りたい」や「アクティブに深めよう」では学習の補充・深化を図っている。終章のレポート、ディベート等、習得した知識を活用し、学習内容を補足・深化させるよう工夫されている。 | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【公民的分野(社会)】

| 書名 項目 | 新しいみんなの公民 | 227 |
|----------|--|---|
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○見開き2ページで構成されており、その学習課題に対して、右ページ欄外に「学習のまとめ」を設け、学習内容が理解できたか確認できるようにしている。</p> <p>○章末の「学習のまとめ」で重要語句の確認、図中に語句を書き入れるワークシート等により、知識・技能を習得させる工夫がされている。</p> | 育鵬社 |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○「やってみよう」では、身近な祭りの調査、新聞の社説の比較、裁判員になって判決を考えようなど具体的に示し、思考力・判断力・表現力の育成を図ろうとしている。</p> <p>○見開き2ページの右ページ欄外「学習のまとめ」は、調べ学習や文章説明等を行うようにも工夫されており、繰り返し思考力・判断力・表現力等の育成を図ろうとしている。</p> | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○各章の学習に興味・関心をもって取り組めるように「入り口」を設けるとともに、「学習を深めよう」を設け、本文と関連する内容について考え深め、学びに向かう力が高まるように工夫されている。</p> <p>○「つかむ・調べる・まとめる」の学習過程に沿って、物事の学習過程に沿って、物事の因果関係を丁寧に述べた本文と図版や写真資料を活用し、生徒に人間性を涵養するための工夫が見られる。</p> | |
| | <p>〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉</p> <p>○それぞれの学習内容ごとに、人物キャラクターによる疑問掲示等の投げかけがあり、課題を追究・解決する活動の充実が図られている。</p> | |
| | 資料 | <p>○巻頭「持続可能な開発目標(SDGs)」を掲載するとともに、他人事を自分としてとらえる資料として「〇〇のこれから」を設けている。巻末に「持続可能な社会をめざして」を掲載するとともに、日本国憲法をはじめ、関連する法令集、学習に役立つウェブサイトが紹介されている。</p> |
| 表記・表現 | <p>○本文は、常体で、重要語句は太字である。側注に語句の解説がされている。本文中にp. 〇〇と示し、関連事項が分かるようになっている。</p> <p>○1時間単位の内容を補足する写真・図版資料が本文の周りに配置し、「学習を深めよう」では学習内容を深められるような工夫がされている。</p> | |
| 総括 | <p>○紙面はA B版である。巻頭に「なぜ、『公民』を学ぶのか?」が掲載されている。そのきっかけとして「人生のモノサシ」で、自分の将来設計について考えさせるようにしている。また、各章の始まりには「入り口」を言語活動のできるページを設け、主体的に取り組むようにしている。「やってみよう」では様々なテーマをもとに参加型学習を行い、個人と社会との関わりを中心にとらえられるように工夫されている。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【地図(社会)】

| 書名 項目 | 新しい社会 地図 | 2 |
|----------|--|----|
| | | 東書 |
| 内容 | <p><知識及び技能が習得できるようにするための工夫></p> <p>○大きく「世界」と「日本」に分け、「世界全体の資料→世界の一般図・資料→日本の一般図・資料→日本全体の資料→世界と日本の統計資料」の順に配列するとともに、世界と日本の関連資料も随所に設け、世界や日本の地域的特色を理解するための工夫が見られる。</p> <p>○巻頭に「この地図帳の地図記号」「この地図帳の活用方法」を設け、一般図やテーマ図、グラフ・写真資料などの具体的な活用事例を示し、地図帳の使い方を確実に身に付けるようにしている。</p> | |
| | <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <p>○関連資料を示す「ジャンプ」を設け、複数の資料を関連して活用するように促している。</p> <p>○地図帳と一緒に世界旅行をするという設定のもと、4人の生徒と2人の教師がキャラクターとして随所に登場し、地図の見方や課題を投げかけ、社会的事象を多面的・多角的に捉えられるよう工夫が見られる。</p> | |
| | <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <p>○世界・日本それぞれに基本資料、テーマ資料を掲載し、キャラクターが考察の視点を示し、主体的な学習を進められるよう工夫が見られる。</p> <p>○それぞれの地域の特色を示す大きめの写真資料を多数掲載し、学習に対する疑問や意欲を喚起する工夫が見られる。</p> | |
| | <p><課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫></p> <p>○巻頭に今日的課題である「持続可能な開発目標」(SDGs)を見開きで示し、現代社会の諸課題を捉え、解決に向けた態度を養えるよう工夫が見られる。</p> <p>○一般図では、ICT機器を使用して巻頭の二次元コードからデジタルコンテンツにアクセスでき、学習効果を高める工夫が見られる。</p> | |
| | <p><資料を整理・活用するための工夫></p> <p>○巻末にテーマごとに資料を検索できる「資料さくいん」を設け、学習内容に適した資料を探しやすいように工夫している。</p> <p>○日本の統計資料では、項目ごとに1位の都道府県の数値が赤字で示されている。</p> <p>○写真やグラフ資料が適切に掲載され、学習効果を高める工夫が見られる。</p> | |
| 資料 | | |
| 表記・表現 | <p>○一般図で示した地域を世界または日本のどの部分にあたるのか位置図で示している。</p> <p>○一般図は等高彩段で表現され、土地の起伏感が捉えられるようにしている。</p> <p>○地名の漢字にはすべてふりがなが付され、正しく読めるよう配慮されている。</p> | |
| 総括 | <p>○AB版である。興味・関心を高めるように、世界を中心に写真を豊富に掲載するとともに、日本とつながりの強い地域の大鳥瞰図を掲載し、地域をイメージしやすくしている。キャラクターの吹き出しに読図や考察の視点を適切に示し、地理的な見方や考え方の基礎、思考力・判断力・表現力の育成を図っている。</p> <p>「持続可能な開発目標」(SDGs)を意識し、環境・エネルギー、防災・安全、人権・平和、伝統・文化、情報・技術等に関連した資料も充実している。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【地図(社会)】

| 書名 項目 | 中学校社会科地図 | 46 |
|----------|--|--|
| | | 帝国 |
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○大きく「世界」と「日本」に分け、「世界全体の資料→世界の一般図・資料→日本の一般図・資料→日本全体の資料→世界と日本の統計資料」の順に配列するとともに、世界と日本の関連資料も随所に設け、世界や日本の地域的特色を理解するための工夫が見られる。</p> <p>○巻頭に「この地図帳の凡例」「地図帳の使い方」「国土地理院の地形図」を掲載し、読図や資料の読み取りなどの地理的技能を身に付けられるようにする工夫が見られる。</p> | |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○「地図活用」を随所に設け、地理的事象や地域的諸課題を多面的・多角的に考察させ、思考力、判断力、表現力を育成する工夫が見られる。</p> <p>○日本全体の資料では、項目ごとに「学習課題」を設け、思考力、判断力、表現力をさらに深める工夫が見られる。</p> | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○世界の各州には、自然環境や生活・文化、産業などのイラストを配した、鳥瞰図があり、地域的特色が視覚的に捉えられ、体感でき、学習意欲を高める工夫が見られる。</p> <p>○それぞれの地域的特色を示す写真資料やイラスト等も多く、学習に対する疑問や意欲を喚起する工夫が見られる。</p> | |
| | <p>〈課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫〉</p> <p>○一般図や資料図の随所に「二次元コード」が設けられ、ICT機器を用いるなどして課題の追求や解決を充実させる工夫が見られる。</p> | |
| | 資料 | <p>○世界の資料図では、州ごとに日本との結びつきのテーマ図が用意され、その地域と日本の結びつきを深く考察する工夫が見られる。</p> <p>○統計資料では、州別(地方別)、項目別に色分けがなされ、上位国(県)の数値は赤字、下位国の数値は青字で示している。</p> |
| 表記・表現 | <p>○一般図で示した地域を世界または日本のどの部分にあたるのか位置図で示している。また、世界の基本図には、同緯度・同縮尺の日本(南半球では同縮尺の日本)を示し、世界と日本を比較するようにしている。</p> <p>○一般図は等高彩段で表現され、土地の起伏感が捉えられるようにしている。</p> <p>○文字はユニバーサルデザインフォントが使用され、地名の漢字にはすべてふりがなが付され、正しく読めるよう配慮されている。</p> | |
| 総括 | <p>○A4版である。地域の結びつきをより重視した図取り、資料図も大きめで、見やすい構成である。興味・関心をもって地図帳を活用するように、鳥瞰図を豊富に掲載し、地域をイメージしやすくしている。随所に「地図活用」や「学習課題」を設け、地理的な見方や考え方の基礎、思考力・判断力・表現力などの育成を図っている。今日的課題である「持続可能な開発目標」(SDGs)の観点に基づいた資料や日本の防災に関する資料も多く掲載され、今後の日本や世界を担う人材育成の観点もうかがえる。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【数学】

| 書名 項目 | 新しい数学 | 2 |
|----------|--|----|
| | | 東書 |
| 内容 | <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○数学的活動を通して、既習の知識と関連付けた深い知識や、様々な場面で活用できる技能を身に付けられるように工夫している。 ○節末「基本の問題」、巻末「補充問題」では、本文対象ページが示され、振り返りができるように工夫されている。 | |
| | <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「深い学び」のページでは、生徒が見方、考え方を働かせた数学的活動に取り組み、思考力、判断力を養うことができる。 ○事象から問題を見だし解決する活動では、「統合・発展」にあたる発問があり、見方・考え方が働く深い学びができるよう工夫されている。 ○「活用の問題」では事柄や事実、方法や手順、理由を数学的に説明する記述式問題があり、思考力、判断力、表現力を養うことができる。 | |
| | <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「深い学び」で身近な問題を解決したり、新しい数学の性質を発見したりして、数学的活動の楽しさや数学のよさが実感できるよう工夫されている。 ○「数学マイノート」「学習感想」では、自分の考えや他者の考え、問題解決の過程での気づきを振り返り、さらに深められるように工夫されている。 | |
| | <数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫> ○「深い学び」で主体的、対話的で深い学びができるよう「問題をつかむ→見通しを立てる→振り返る→深める」の過程に沿って、問題発見・解決の過程を重視した数学的活動を説明している。 | |
| | 資料 | |
| 表記・表現 | ○導入の場面で日常生活や数学の事象を1コマのイラストで提示し、学習への興味、関心を高められるよう工夫されている。 ○統計資料には、最新のコンビニエンスストアの販売数など、身近な資料が使用されており、生徒が具体的に想像しやすいように工夫されている。 | |
| 総括 | ○生徒に誤った理解やあいまいな理解を与えないように、「まちがい例」などを入れて丁寧に説明し、生徒に抵抗感がないような表現をしている。 ○記号や用語は概念や内容を明確にしたり、具体的な場面と関連付けたりして理解できるように工夫されている。 | |
| | 1年生では、算数から数学へつなぐ単元「0章」が新設され、どの生徒も抵抗なく取り組めるようになっている。節の導入では作業的な活動を取り入れ、意欲的に取り組めるようにワークシート形式で構成されている。「章の問題」「補充問題」では、基礎基本の定着が図られ、「深い学び」では、身近な事象から数学的活動を取り入れて学習が展開されるように構成されている。 | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【数学】

| 書名 項目 | 数学の世界 | 4 |
|----------|---|-----|
| | | 大日本 |
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○導入課題「考えよう」で既習内容との関連を重視し、学習活動は小問のステップに沿って、確かな知識・技能が身につくよう構成されている。</p> <p>○「活動」「例」「例題」を適切に配置し、学習の流れがわかりやすく構成されている。技能の確実な定着のために豊富な問題量が用意されている。</p> | |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○「判断しよう」「伝えよう」の問題を設定し、事象を数理的に考察する活動を重視させ、論理的に考察する場面を設けている。</p> <p>○思考力・判断力を高めるため、式、表、グラフを利用し調査・説明する活動や他者の考えと比較・活動できるページを各章に配置している。</p> <p>○「活動」「Q伝えよう」「ふり返ろう」「学びにプラス」で、数学的な表現を用いたコミュニケーション能力が伸ばせる場面が設定されている。</p> | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○導入、利用場面での題材が身近なものから選択されており、身のまわりの事象とのつながりが感じられるよう各章ごとに設定されている。</p> <p>○節末「たしかめよう」で自己評価と定着のための取り組みと、章末「ふり返ろう」では3観点に基づいた自己評価ができるよう設定されている。</p> | |
| | <p>〈数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫〉</p> <p>○巻頭の「数学の世界へようこそ」で学習の進め方が詳しく説明されている。また、数学的活動への取り組みを明確化するために「問題を見いだそう」「解決のしかたを探ろう」「解決しよう」「深めよう」の4ステップで、分かりやすく説明されている。</p> | |
| 資料 | <p>○写真や図、イラストを効果的に用いて、課題や本文のイメージを捉えやすくしている。特に、図形領域では写真を効果的に用いている。</p> <p>○身近で正確な新しい資料を取り上げるとともに、新聞記事や自治体の広報誌などの実感をともなう資料も用いている。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○全ての生徒が読みやすいように文節改行がなされている。また、「UDフォント」を使用し、色覚特性に配慮した4色刷りを有効に活用している。</p> <p>○用語・記号は初出時に太字で示し、ふりがなをふっている。既習の用語・記号を必要に応じ側注に示し繰り返し確かめられるよう設定されている。</p> | |
| 総括 | <p>1単位時間分の学習内容が見開き2ページにまとめられている。学習の習熟度や個に応じて利用することができる様々な問題が設けられており、主体的な学習ができるよう構成されている。巻末には、「課題学習」「MATHFUL」などが設けられており、日常生活との関連が図られている。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【数学】

| 書名 項目 | 中学校数学 | 11 |
|----------|--|----|
| | | 学図 |
| 内容 | <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○「小タイトル」を設け、学習内容を明確にしている。ノート形式の解答を示し、ノート作りを通して基礎基本の定着が図れるよう工夫されている。 ○「ふりかえり」「確かめよう」「やってみよう」で、既習事項の確認、知識・技能の定着、習熟が図れるよう、数多くの問題が用意されている。 | |
| | <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「Q」に数学的な見方・考え方の例が示され、問題解決に向けて見通しを立て、筋道を立てて論理的に考察できるよう工夫されている。 ○「章のまとめ問題」「深めよう」で、数学を活用し考え判断し、日常の様々な場面で数学が生かされていることが分かる問題が配置されている。 ○「表現する力を身につけよう」で、自分の考えをまとめ、他者に伝える等のアクティブラーニングとして協働学習ができるようにされている。 | |
| | <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○「章のとびら」「役立つ数学」「さらなる数学へ」などで、身の回りで数学が役立つ場面を多く取り上げ、数学の有用性を持たせようとしている。 ○章の最後に、「できるようになったこと」で自己評価をさせ、学習意欲をもたせるため「さらに学んでみたいこと」を記入させるようにしている。 | |
| | <数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫> ○章のとびらで、日常社会の事象から、生徒自身が疑問をもつような展開になるよう工夫されており、その事象を数学化し問題解決を図る展開になっている。「数学見つけた」「数学の力」「役立つ数学」などでは、随所に身の回りで数学が使われている場面や役に立つ場面が設けられている。 | |
| | | |
| 資料 | ○写真や図、イラストは興味・関心を高めるとともに、親しみのもてるものを使用し、学習内容の理解の手助けとなるようなものを用いている。 ○裏見返しにホワイトボードマーカーで書いたり消したりできるページが添付しており、個人での考察や、グループ討議のときに活用できる。 | |
| 表記・表現 | ○UDの観点から誰にでも見やすいように配慮されている。また、色遣いについてもカラーUDの観点から、色覚特性にも配慮されている。 ○英数字や記号などは、和文の書体との組み合わせが工夫されており、文字の大きさや行間も、数式が組み合わせさっても、見やすくなっている。 | |
| 総括 | 多様性を前提として、「つながる問題・役立つ数学」「伝える力・聞く力」「環境・現代へ続く数学」をモットーとした問題解決能力の育成に力が入れている。また、小中高連携やプログラミング教育、SDGs(持続可能な開発目標)にも触れ、生徒の主体性が育まれるよう工夫されている。 | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【数学】

| 書名 項目 | 中学数学 | 17 |
|----------|--|----|
| | | 教出 |
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○「Q」「例題」「問」を設け、基本的な知識や技能が身につけられるようにしている。節末、章末で振り返り問題が多く設けられている。</p> <p>○多くの問題と、関連する既習事項や、理解に課題があるものについては丁寧な表現で、本文や紙面に登場する生徒の発言でフォローされている。</p> | |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○思考力が常に深まっていくように、対話形式でフォローしていくような工夫がみられる。また、支援例を提示するときには先生が登場している。</p> <p>○課題のプロセスが見える様に分かりやすい図を活用している。様々な意見の比較検討場面も描かれ、理解が深まりやすい構成になっている。</p> <p>○「深めよう」で学習内容を深めたり、広げたりする課題を設け、「話し合おう」で話し合いによって課題を解決する問題を随所に設けている。</p> | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○すべてを例示せず、既習事項をもとに考えるよう構成されている。また、単元の導入や活用段階で問題を豊富に設け、考える機会が充実している。</p> <p>○答えを求めさせるだけでなく、説明する問いかけが多く用いられている。数学が生活の中に生かされていることを実感する課題も設けられている。</p> | |
| | <p>〈数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫〉</p> <p>○生徒が取り組む課題は、単純で具体的なものが多く無理なく取り組めるものとなっている。学習内容にストーリー性があり、人物の対話を入れることで、学習内容がつながっていくように工夫されている。身のまわりの課題を設けることで、数学の有用性も感じやすくなっている。</p> | |
| 資料 | <p>○例題は、シンプルで分かりやすい図で構成されている。また、生徒が興味をもつようにゲーム性が高い図や写真なども豊富に取り上げている。</p> <p>○紙面に掲載されたQRコードを読み取ると、学習内容に関連したデジタルコンテンツが利用でき、効率よく学び進められるようになっている。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○判読しやすい配色やレイアウト、図中のマークを大きく見やすく、文字はUDフォントで表記され、学びやすい紙面になっている。</p> <p>○ふりがなが多めにつけられており、側注を設けて補足的な内容も適宜扱われている。また、適切な文節改行で、視覚的な配慮もされている。</p> | |
| 総括 | <p>「対話場面の充実」「デジタルコンテンツ」を特色としている。既習内容の振り返りや生徒のつまずきポイントのフォローなどを多く提示し、基礎的・基本的な知識・技能の習得にも力を入れている。また、説明する課題や論証など主体的に取り組める問題も多く掲載されている。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【数学】

| 書名 項目 | 未来へ広がる数学 | 61 |
|----------|--|-----|
| | | 啓林館 |
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○「章末問題」の「学びをたしかめよう」で基本的な事柄が理解できているかどうかを確認し、知識・技能の確実な定着が図れるように工夫している。○数学を使った問題を発見・解決の流れが見える「ステップ式」の構成により、数学的に表現・処理する力を身に付けられるようにしている。 | |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○問題解決に向け、学習した内容を活用して調べたレポート例が掲載され、事象を数理的に考察し表現する能力が育めるように工夫されている。○「？」のマークのところで問題を広げたり、深めたりすることで、自ら統合的、発展的に考える力を身に付けられるようにしている。○「説明しよう」「話しあおう」で、言葉や数、図などを適切に使って表現したり、まとめたりする力を育成できるよう工夫されている。 | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○「学びを生かそう」では、「社会科見学に行こう」など身近な題材が用意され、数学を生活に生かそうとする態度を養えるように工夫されている。○「自分から学ぼう」では、問題解決後、結果が得られただけで終わるのではなく、結果を振り返り発展的に考えることができるよう工夫されている。 | |
| | <p>〈数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○「数学ライブラリー」では、身近な生活や物語との関連から、数学の新しい知識を得たり課題を見つけたりして、数学を利用して身近な問題を解決しようとする態度を育てる工夫がされている。 | |
| 資料 | <ul style="list-style-type: none">○数学が使われている場面を学習内容と関連させてイラストで説明したり、本文の説明を補うための図や表をカラーで効果的に表現したりしている。○統計資料は、生徒に身近な資料が使用されており、具体的な場面が想像しやすいように工夫されている。 | |
| 表記・表現 | <ul style="list-style-type: none">○「～します。」「～表しなさい。」など柔らかく表現されていて、「学びを生かそう」では「～表しましょう。」と表現されている。○記号や用語を説明する文はアミを付けたり太字で印字したり、重要事項は枠で囲むなどして、ポイントとなる事項がわかりやすく表記されている。 | |
| 総括 | <p>本冊が「みんなで学ぼう」「自分から学ぼう」の2部構成になっており、学習を振り返り、さらに学びを活かすことができるように構成されている。「学びをたしかめよう」「学びを身に付けよう」「もっと練習しよう」で基礎基本の定着が図られている。「数学ライブラリー」では、身近な事象から数学的活動を取り入れて、主体的な学習が展開されるように構成されている。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【数学】

| 書名 項目 | 日々の学びに数学的な見方・考え方を はたらかせる これからの数学 | 104 |
|----------|---|-----|
| | | 数研 |
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○基礎的な概念や原理・法則の理解のために、章の始めの「ふりかえり」で既習事項を確認し、また「例」の説明等はとても丁寧に書かれている。○数学的に表現・処理する技能を身につけるために、代表的な問題を解答例と共に示したり、既習事項の振り返り学習ができるよう工夫されている。 | |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○事象を論理的に考察する力を養うために「Q」で課題に関する問いかけをし、対話形式で数学的な根拠をもとに解決に向かう形式がとられている。○数量や図形の性質を統合的に考察する力を養うために「TRY」で課題を投げかけ、既習内容を活用し理由を説明する問いかけが設けられている。○事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養うために、数式を読み取ったり自分の考えを数学的な言葉で表現する機会が豊富に用意されている。 | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○数学の楽しさやよさが実感できるよう、身近な問題を取り上げて数学の有用性を感じさせ、粘り強く考えられるよう適宜ヒントが提示されている。○問題解決の過程を振り返って評価・改善できるよう、時にはキャラクターが誤った考えを述べ、批判的な考察ができるよう工夫されている。 | |
| | <p>〈数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">○数学的に考える資質・能力をバランスよく育成するために、自ら考えて問題解決に向かう姿勢を、対話形式で掲載することにより、問題を数学的に解決するプロセスに焦点があたるように構成されている。 | |
| 資料 | <ul style="list-style-type: none">○挿絵・写真・図表等は、視覚的に理解しやすいように工夫され、生徒が興味をもてるよう、身近なものの写真が豊富に取り上げられている。○学習効果を高めるために、統計資料等はURLやQRコードからデジタルコンテンツとリンクして、分析・考察をしやすい工夫がされている。 | |
| 表記・表現 | <ul style="list-style-type: none">○見やすいレイアウトや読みやすい表現にするために、UDフォントを使用し、文字は大きめで色使いも見分けやすい表記になっている。○記号、用語、単位等の表現は、行間に余裕を持たせ、1年生ではアルファベット表を載せるなどの配慮がされている。 | |
| 総括 | <p>全体的に、対話形式で問題解決を進めるように構成されており、生徒が興味・関心を持って課題に取り組むことができる。また、基礎的な力をつける本冊と、学んだ力を活用して探求的・統合的課題に取り組む別冊で構成され、学級や生徒の状況に合わせた学びが進められることが特徴である。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【数学】

| 書名 項目 | 中学数学 | 116 |
|----------|---|-----|
| | | 日文 |
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○観察や操作、実験などの活動を通して、数量や図形などの性質を見いだしたり、発展させたりする機会を適宜設けている。</p> <p>○知識及び技能を習得する過程で生徒が考え説明したりする学習活動を設け、知識及び技能と思考力・表現力が身に付けられるよう工夫されている。</p> | |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○事象を論理的に考察する数学的活動の場面があり、「大切な見方・考え方」ではどのように見方・考え方を働かせるかがわかりやすく表現されている。</p> <p>○数量や図形などの性質を見だし、統合的・発展的に考察する数学的活動の場面として、「深めよう」を適宜設けている。</p> <p>○数学的な表現を用いて説明する力を養うために、各小節には「問」「説明できるかな?」を設けている。</p> | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○「学びあおう」で数学を活用して問題解決する方法を理解し、自ら問題を解決するための構想を立て、実践、評価、改善できるよう構成されている。</p> <p>○巻末に「数学レポートを書こう」が設けてあり、数学的活動の過程をふり返り、レポートにまとめて成果を共有できる工夫がされている。</p> | |
| | <p>〈数学的活動を通して数学的に考える資質・能力を育成するための工夫〉</p> <p>○巻頭で数学の学び方の概要を示すとともに、各小節の「考えよう」「話し合おう」「深めよう」で、主体的・対話的で深い学びが実現できるようになっている。</p> | |
| 資料 | <p>○キャラクター「マテマ」の吹き出しにより、視覚的、効果的に生徒の学習を支援している。</p> <p>○統計資料などには、生徒になじみがあり、日常生活や社会生活で役に立つ場面を取り上げ、情報活用能力を育成できるよう工夫されている。</p> | |
| 表記・表現 | <p>○初出用語や重要事項については、背景に色をつけたりフォントをかえたりして強調するとともに、理解を助ける式や図などを添える工夫をしている。</p> <p>○特に定着しにくい表現については、具体的な用語の使い方を「表現の例」として示すことで、理解を助けるように配慮されている。</p> | |
| 総括 | <p>数学的活動を通じた問題発見・解決の過程と学び方のポイントを示した「数学の学習を始めよう」や、学習の振り返り方などを示した「ノート工夫」では、数学の学習の進め方が理解できるように配慮されている。また、巻頭見返しの「数学を見つけよう」では、身近な数学を写真で紹介することで、知的好奇心を喚起し、興味関心が高まるように工夫されている。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等) 【理科】

| 項目 | 書名 | 2 |
|-------|--|----|
| | 新しい科学 | 東書 |
| 内容 | <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各節に「課題」「課題に対する結論を表現しよう」が示され、結論を生徒自らがまとめるようになっている。章末や単元末、デジタルコンテンツで重要語句や基本事項を確認している。観察・実験では手順をステップに分け、図や写真を用いて示し、観察・実験の前及び巻末資料に「基礎操作」を設けている。 | |
| | <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○観察・実験では、「結果の見方」と「考察のポイント」で結果・考察の視点を示している。また、巻頭の漫画や各節ごとのフローチャートで探求の進め方を示している。各節の結論などでは、自分の言葉でまとめさせることで、思考力や表現力を育成する場面を示している。 | |
| | <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○巻頭で探求の流れを示し、その中で教科書の使い方を説明している。「科学のミカタ」や「学びをいかして考えよう」などの項目があり、主体的に学習させるための工夫をしている。また、生命の尊さや自然環境の大切さについて生徒自らが考える場面を設け、環境問題に関心が持てるようにしている。 | |
| | <科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫> ○探求の過程がマークと脚注のフローチャートで示されており、探求的な展開を基本とした構成である。「問題発見」「構想」が配置されており、「理科の見方・考え方」に基づいて、見通しをもって観察・実験するように配慮されている。 | |
| | <日常生活や他教科等との関連を図るための工夫> ○「つながる科学」において、日常生活や社会との関わりを紹介し、理科の有用性が実感できるよう工夫している。算数・数学、社会、保健体育、技術・家庭、道徳科で学習した内容について、「〇〇で学ぶこと」とマークを付け、教科間の関連を図りやすいよう配慮されている。 | |
| 資料 | ○日常生活や社会との関連がわかる「つながる科学」や科学技術を紹介した「from Japan 世界につながる科学」を掲載し、科学を学ぶ意義や有用性を伝える工夫をしている。 ○動画による内容解説や練習ドリル、他教科との関連などを示した、WEBサイトを活用したデジタルコンテンツ(Dマークコンテンツ)の資料がある。 | |
| 表記・表現 | ○本文などにUDフォントを使用し、重要語句や式は太文字のゴシック体を使用している。重要語句は振り仮名を付け、式は単位をつけて下地の色を変えて表記している。 ○マークやキャラクターのコメント・会話を用いて、思考の手助けを行う工夫をしている。また、領域ごとに課題や実験などを色分けして表示している。 | |
| 総括 | ○巻頭で探求の流れや教科書の使い方などを示している。単元配列は、各単元の指導時期や内容の関連性を踏まえた配置となっており、生徒の科学的概念の形成に配慮されている。 ○単元末に「学習内容の整理」「確かめと応用」「確かめと応用 活用編」を示している。 ○巻末には「自由研究」「基礎操作」などがまとめられている。巻末に自分で組み立てる地学単元のペーパークラフトが付けられている。 | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【理科】

| 書名 項目 | 理科の世界 大日本図書 | 4 |
|----------|---|-----|
| | | 大日本 |
| 内容 | <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各節(各項)に課題が示されている。各単元の最初と随所に既習事項の確認が示され、章末や単元末で重要語句や基本事項を確認している。観察・実験では手順を図や写真を用いて示し、観察・実験の近くや巻末資料の「基本操作」があり、ウェブコンテンツ動画も設けている。 | |
| | <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○観察・実験では、「結果の整理」と「結果から考えよう」を設け、結果や考察するポイントを示している。また、巻頭の「理科の学習の進め方」で探究の流れや方法を示している。更に、「振り返ろう」などでは、自分の言葉でまとめさせることで、思考力や表現力を育成する場面が設けられている。 | |
| | <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○巻頭で理科の学習の進め方を示し、その中で教科書の使い方を説明している。「問題を見つけよう」や「やってみよう」などの項目があり、主体的に学習させるための工夫をしている。また、自然環境に関する資料に「環境マーク」を付け、環境問題に関心が持てるようにしている。 | |
| | <科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫> ○探究の過程がマークで示され、重点項目は色分けされており、探究的な展開を基本とした構成になっている。「問題を見つけよう」「計画を立てよう」が配置されており、「理科の見方・考え方」を働かせ、見通しをもって観察・実験ができるように配慮されている。 | |
| | <日常生活や他教科等との関連を図るための工夫> ○「くらしの中の理科」において、日常生活や社会との関わりを紹介し、理科の有用性が実感できるよう工夫している。国語、算数・数学、美術、保健体育、技術・家庭、英語で学習した内容について、「つながる」とマークを付け、教科間の関連を図りやすいよう配慮されている。 | |
| 資料 | ○日常生活での科学を紹介した「くらしの中の科学」「Science Press」や職業を紹介した「Professional」を掲載し、科学を学ぶ意義や有用性を伝える工夫をしている。 ○専用アプリ「COCOAR2」のARを用いた動画による内容説明、補助説明やシミュレーションなどを示した、WEBサイトを活用したデジタルコンテンツがある。 | |
| 表記・表現 | ○本文などにUDフォントを使用し、重要語句や式は太字のゴシック体を使用している。重要語句はふりがなを付け、式は単位を付けて表記している。 ○マークやキャラクターのコメント・会話をを用いて、思考の手助けを行う工夫をしている。また、全領域で課題や実験などの色を統一して表示している。 | |
| 総括 | ○巻頭で学習の進め方や教科書の使い方などを示している。単元配列は、小学校との関連を重視した配置となっており、観察・実験のしやすい時期や、学年による理科室使用の重なりなどに配慮されている。 ○単元末に「まとめ」「単元末問題」「読解力問題」を示している。 ○巻末には「自由研究」「基本操作」などがまとめられている。3年巻末の「学習のまとめ」では、1～3年の復習ができるようになっている。 | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等) 【理科】

| 項目 | 書名 | 11 |
|-------|--|----|
| | 中学校科学 | 学図 |
| 内容 | <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○1時間ごとに「この時間の課題」「この時間のまとめ」が示されている。各単元の導入部分や随所で既習事項が整理されている。章末のQRコード教材で、重要語句や基本事項を確認している。観察・実験では、手順を写真を用いて示し、観察・実験の近くに「基本操作」を設けている。 | |
| | <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○観察・実験では、「結果」と「考察」で結果・考察の視点を示している。また、巻頭の「理科のトリセツ」で探究の進め方や方法を示している。更に、「しっかりふり返り」などでは、自分のことばでまとめさせることで、思考力や表現力を育成する場面を示している。 | |
| | <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○巻頭の「理科のトリセツ」の中で、理科の学習の進め方と教科書の使い方を説明している。各章のはじめと終わりに「Can-Do List」があり、主体的に学習させるための工夫をしている。また、「Can-Do List」に生命尊重や環境保全の話題を掲載し、環境問題に関心がもてるようにしている。 | |
| | <科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫> ○探究の過程がマークで示され、マークが矢印でつながっており、探究的な展開を基本とした構成になっている。「気づき」「計画」が配置されており、「理科の見方・考え方」を働かせ、見通しをもって観察・実験ができるように配慮されている。 | |
| | <日常生活や他教科等との関連を図るための工夫> ○「資料」において日常生活や社会との関わりを紹介し、理科の有用性が実感できるよう工夫している。国語、数学、技術で学習した内容について、「つながり・○○」とマークを付け、教科間の関連を図りやすいよう配慮されている。 | |
| 資料 | ○科学と関連した働く人を紹介する「ミッションX」や、日常生活の科学や歴史を紹介した「サイエンスカフェ」を掲載し、科学を学ぶ意義や有用性を伝える工夫をしている。 ○動画による内容解説やプログラミング教材、練習問題を示したQRコードを活用したデジタルコンテンツの資料がある。 | |
| 表記・表現 | ○本文などにUDフォントを使用し、重要語句や式は太字のゴシック体を使用している。重要語句は振り仮名を付け、式は単位を付けて下地の色を変えて表記している。 ○マークやキャラクターのコメント・会話を用いて思考の手助けを行う工夫をしている。また、全領域で見出しや実験などの色を統一して表示している。 | |
| 総括 | ○巻頭で理科を学ぶ意義や教科書の使い方などを示している。単元配列は、想定する年間指導計画に沿って系統的に配置されており、初任の教師が構成を理解しやすいように配慮されている。 ○巻末には内容は学年毎に異なり、「実験器具の操作」「周期表」などがまとめられている。巻末にホワイトボード代わりのページがあり、学びの交換ができる。 ○単元末に「学びの深め方」「読解力問題」を示している。 | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等) 【理科】

| 項目 | 書名 | 17 |
|-----------|---|----|
| | 自然の探求 中学理科 | 教出 |
| 内容 | 〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉 ○各節に「課題」「結論」が示されている。各章の最初と随所に既習事項が示され、章末や単元末で重要語句や基本事項を確認している。観察・実験では、手順をステップに分け、図や写真を用いて示し、観察・実験の近く及び巻末資料に「基礎技能」を設けている。 | |
| | 〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉 ○観察・実験では、「結果」と「考察」で結果・考察の視点を示している。また、巻頭の「探究の進め方」で、探究の流れや方法を示している。更に、「活用しよう」や「考えよう」などでは、自分の言葉でまとめさせることで、思考力や表現力を育成する場面を示している。 | |
| | 〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉 ○巻頭で探究の進め方を示し、その中で理科の学習の流れを説明している。「やってみよう」や「チャレンジ」などの項目があり、主体的に学習させるための工夫をしている。また、自然保護や生命尊重に関わる内容を「ハローサイエンス」で紹介し、環境問題に関心をもてるようにしている。 | |
| | 〈科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫〉 ○探究の過程がマークで示され、紙面の両端に色帯が付けられており、探究的な展開を基本とした構成になっている。「疑問」「計画」が配置されており、「理科の見方・考え方」を働かせ、見通しをもって観察・実験ができるように配慮されている。 | |
| | 〈日常生活や他教科等との関連を図るための工夫〉 ○「ハローサイエンス」において、日常生活や社会との関わりを紹介し、理科の有用性が実感できるよう工夫している。算数・数学の内容について、「ブリッジ算数」「ブリッジ数学」とマークを付け、教科間の関連を図りやすいよう配慮されている。 | |
| 資料 | ○科学技術と社会生活、自然、歴史、職業との関わりを示した「ハローサイエンス」を掲載し、科学を学ぶ意義や有用性を伝える工夫をしている。 ○動画による補足説明や科学に関する情報を示した、QRコードを活用したデジタルコンテンツ(まなびリンク)の資料がある。 | |
| 表記・ 表現 | ○本文などにUDフォントを使用し、重要語句や式は太字のゴシック体を使用している。重要語句は色を変えて振り仮名を付け、式は単位をつけて下地の色を変えて表記している。 ○マークやキャラクターのコメント・会話を用いて、思考の手助けを行う工夫をしている。また、全領域で課題や実験などの色を統一して表示している。 | |
| 総括 | ○巻頭で理科を学ぶ意義や探求の進め方などを示している。単元配列は、各単元の指導時期や学習内容のつながりを考慮した配置となっており、地域や学校の実態に応じた指導計画を立てられるように配慮されている。 ○単元末に「要点と重要語句の整理」「基本問題」を示している。 ○巻末には「学年末総合問題」「基礎技能」などがまとめられている。巻末に実習や観察で用いる厚紙のカードやシートが付けられている。 | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等) 【理科】

| | | |
|-----------|--|-----|
| 書名 項目 | 未来へひろがるサイエンス | 61 |
| | | 啓林館 |
| 内容 | <知識及び技能が習得できるようにするための工夫> ○各節に課題が示されている。QRコンテンツや各章の最初と随所に既習事項が示され、章末や単元末、QRコンテンツで重要語句や基本事項を確認している。観察・実験では手順をステップに分け、図や写真を用いて示し、観察・実験の近くに「観察・実験のスキル」やQRコンテンツの動画を設けている。 | |
| | <思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○観察・実験では、「結果」と「考察」で結果・考察の視点を示している。また、巻末の「探Qシート」を用いて、探究の進め方や方法を示している。更に、「探Q実習」や「探Q実験」、「表現してみよう」などでは、自分の言葉でまとめられることで、思考力や表現力を育成する場面を設けている。 | |
| | <学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○巻頭で探究の過程を示し、その中で教科書の使い方を説明している。各単元の一つ「探Q実験」を設定し、巻末の「探Qシート」を活用して主体的に学習させるための工夫をしている。また、自然環境に関する題材に「環境マーク」を付け、環境問題に関心をもてるようにしている。 | |
| | <科学的に探究する学習活動の充実が図られるための工夫> ○探究の課程がマークで示され、マークが帯でつながっており、探究的な展開を基本とした構成になっている。「疑問」「考えてみよう」が配置されており、「理科の見方・考え方」を働かせ、見通しを持って観察・実験ができるように配慮されている。 | |
| | <日常生活や他教科等との関連を図るための工夫> ○科学コラム「〇〇ラボ」では日常生活や社会との関連を示し、理科の有用性が実感できるよう工夫している。国語、社会、算数・数学、家庭、英語で学習した内容について「〇〇と関連」とマークを付け、教科間の関連を図りやすいよう配慮されている。 | |
| 資料 | ○科学と部活、職業、食生活、自然との関連を示した「科学コラム」や、科学史に関する話題を示した「科学史」を掲載し、科学を学ぶ意義や有用性を伝える工夫をしている。 ○動画による内容説明、既習内容や学習内容の確認を示したQRコードを活用したデジタルコンテンツの資料がある。 | |
| 表記・ 表現 | ○本文などにUDフォントを使用し、重要語句や式は太字のゴシック体を使用している。重要語句は振り仮名を付け、式は単位を付けて下地の色を変えて表記している。 ○マークやキャラクターのコメント・会話をを用いて、思考の手助けを行う工夫をしている。また、領域毎に実験などを色分けして表示している。 | |
| 総括 | ○巻頭で探究の課程や教科書の使い方などを示している。単元配列は、同一学年での単元指導順序の入れ替えが自由に行えるような配置になっており、2学期制や3学期制にも対応できるように配慮されている。 ○単元末に「学習のまとめ」「力だめし」「みんなで探Qクラブ」を示している。 ○巻末には「学年末総合問題」「サイエンス資料」などがまとめられている。巻末に各単元の「探Qシート」が付けられている。 | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【一般(音楽)】

| 書名 項目 | 中学校音楽 音楽のおくりもの | 17 |
|----------|---|----|
| | | 教出 |
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○教科書は、全体的にユニバーサルデザインが意識されており、目に優しい配色と、授業別に表示された目次がとても見やすくなっていた。特に創作の授業においては、リズム創作をメインにわかりやすい例の表示と、アクティビティーが段階を追ってできるよう説明が工夫されている。</p> | |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○一つの教材に対して、その教科書の中にある別の教材との比較ができるように作られている。様々な教材と関連付けができており、生徒の思考力に働きかけることができ、そこから表現に生かす手立てを考えることにつなげていくことができる。</p> | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○鑑賞教材において、楽譜を用いて解説されているページが多く、作曲者の意図などを楽譜から読み取れるよう書かれており、わかりやすい。</p> | |
| | <p>〈音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫〉</p> <p>○生徒の変声期などを、丁寧に説明している。日本歌曲の選曲も良く、発達段階に沿ってると感じた。</p> | |
| | <p>〈生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫〉</p> <p>○アウトリーチの活動を取り扱っている点において、中学校を巣立ってから、音楽と関わって生きていくことを視野に入れているところが良い。</p> <p>○日本音楽の伝統を守っていく大切さと、その意義や重みについて明確な言葉で表現されていた。(国歌のページや、伝統音楽のページなど)</p> <p>○コンピューター音楽や、著作権についてもわかりやすく説明されている。</p> | |
| | <p>○表紙のデザインが、和楽器、ジャズ、オーケストラ、歌唱など様々なジャンルでデザインされていることが良い。ユニバーサルデザインを意識した配色とページごとの関連が工夫されていた。</p> | |
| 資料 | | |
| 表記・表現 | <p>○生徒に語り掛ける言葉で、表記されている。</p> <p>○共通事項を活用できる工夫がなされており、評価項目も考えやすいつくりになっている。</p> | |
| 総括 | <p>○新学習指導要領の内容を踏まえた、大幅な改定と一つ一つの題材における授業の進め方がわかりやすく提示してあるため、順を追って進めると授業の形が明確に出来上がってくる表記である。</p> <p>○教材ごとの比較ができるようになっており、伝統音楽についても鑑賞と歌唱の両方からのアプローチがなされている点が良い。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【一般(音楽)】

| 書名 項目 | 中学生の音楽 | 27 |
|----------|--|----|
| | | 教芸 |
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○各題材で、主体的に学習に取り組むための学習目標、目標に迫るための具体的な学習活動、音楽を形づくっている要素が示されている。</p> <p>○表現活動と創作活動、表現活動と鑑賞活動のつながりがある。</p> | |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○「深めよう！音楽」では、音楽を形づくっている要素を感じ取って聴き、言葉で説明する活動に各学年で取り組めるようになっている。また、グループでの話し合い活動が活発に行えるよう工夫されている。</p> <p>○「曲のよさをプレゼンしよう」では、曲の良さが伝えられるよう、自分の思いを表現できるようになっている。様々な楽曲において活用することができる。</p> | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○3年生の教科書では、「社会を映し出す音楽」を設け、クラシック音楽やポピュラー音楽など多彩なジャンルの作品を紹介する資料があり、さまざまな音楽文化に親しめるよう工夫がされている。</p> | |
| | <p>〈音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫〉</p> <p>○各学年に「My Voice!」を設け、変声、歌う時の姿勢、息の使い方、声の響かせ方についてイラストを交えて示されている。</p> <p>○各学年に「My Melody」を設けて、音のつながりやコード進行、構成音に着目し創作に取り組めるようになっている。「Let's Create!」では、段階を追って教材が選択され、リズムアンサンブルに取り組めるよう工夫がされている。</p> <p>○リズムゲームでビンゴがあり、生徒が関心を持って音楽の基礎を確認することができる。</p> | |
| | <p>〈生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫〉</p> <p>○「生活や社会の中の音楽」では、学年に応じたテーマが設けられ、音や音楽と生活や社会との関りについて、徐々に視野を広げて考えられるよう工夫されている。</p> <p>○著作権について取り上げられ音楽の取り扱いについて考えることができる。</p> | |
| | <p>○教材の特徴が捉えやすくなるよう、写真や図が多く掲載されており、様々な音楽文化や歴史に関する情報が示されている。</p> | |
| 資料 | | |
| 表記・表現 | <p>○歌唱共通教材は、楽譜、縦書きの歌詞、ピアノ伴奏譜、写真が掲載されている</p> <p>○キャラクターを使って吹き出しが示され、生徒に問いかけたり説明したりしている。</p> <p>○表紙は生徒が興味関心を持てるような親しみやすいデザインになっている。</p> <p>○西洋音楽・日本音楽の比較ができ、写真が多用されておりとても見やすい。</p> | |
| 総括 | <p>○学年に応じた歌唱曲、鑑賞曲、創作活動が取り上げられている。</p> <p>○音楽を形づくっている要素について、詳しく説明されている。</p> <p>○「君が代」の楽譜と一緒にオリンピック・パラリンピック・ワールドカップなどの生徒の興味関心に寄せた写真が掲載されている。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【器楽(音楽)】

| 書名 項目 | 中学校器楽 音楽のおくりもの | 17 |
|----------|--|----|
| | | 教出 |
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○学びの狙いが明確に示されており、実践的活動においてのゴールがわかりやすく表示されている。</p> <p>○リコーダーではソプラノとアルトの比較が1ページ内で見られるようになっている。</p> | |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○一般的に器楽の導入では、耳なじみのある楽曲を取り扱うが、楽曲は生徒の思考力・判断力に働きかけるようにオリジナル曲が作成されている。</p> | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○教科書の冒頭になぜ音楽を学ぶかなど、生涯にわたって音楽を学習することを意識づけるような工夫が施されている。</p> | |
| | <p>〈音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫〉</p> <p>○演奏する楽曲の難易度は、ページに従って上がっている。基礎的な能力の育成とともに、常に想像力を働かせるような教材が提示されている。(もののけ姫、こきりこ節など)</p> | |
| | <p>〈生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫〉</p> <p>○邦楽の音楽に使用されている楽器について、詳しく書かれている。</p> <p>○バラエティに富んだ邦楽器の説明があり、自由に選択できるようになっている点が良い。実際に演奏できなくても、楽器について学習できる点が良い。</p> | |
| | <p>○コード表一覧が、目にも優しい配色で、大変見やすくわかりやすい。</p> <p>○楽器ごとの形の違い、大きさの違いがわかりやすくレイアウトされている。</p> | |
| 資料 | | |
| 表記・表現 | <p>○楽譜にはコード進行が記載されている点、伴奏付けなども自由にでき、創作などにも活用できる点が良い。</p> <p>○奏法と楽譜が同時に見られる点などは、従来あまり見られなかったもので、わかりやすく生徒自身が考えながら学べる工夫がされている。</p> | |
| 総括 | <p>○楽曲の選曲にオリジナリティがあり、かつ、ただ演奏するだけでなく音楽的な力が身につく工夫がなされている点が良い。</p> <p>○能力の段階にそれぞれの楽曲が対応している点が良い。</p> <p>○合奏曲には多少自由度が高く、コード進行などを考えながら創作的な活動もできる点が良いと感じた。</p> | |

(別紙様式)

第13採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等) 【器楽(音楽)】

| 書名項目 | 中学生の器楽 | 27 |
|-------|---|----|
| | | 教芸 |
| 内容 | <p>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</p> <p>○各楽器の構造や各部の名称が写真やイラストで示され、楽器の構え方については、複数の角度から写真が掲載され、奏法等の説明がされている。奏法の注意点などが細かく記されている。</p> | |
| | <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</p> <p>○各楽器の演奏のポイントが具体的に示されている。特にアルトリコーダーでは、難しい部分を丁寧にQ&Aの形で示されている。</p> | |
| | <p>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</p> <p>○リコーダーやギターなどの楽器だけでなく、箏や三味線、太鼓、篠笛、尺八、打楽器など様々な楽器を取り上げている。アンサンブルの楽譜などもあり、多くのジャンルの音楽に触れられるよう工夫されている。</p> | |
| | <p>〈音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫〉</p> <p>○リコーダーの楽曲はページの両端に運指が示され、運指の確認がすぐにできるようになっている。</p> | |
| | <p>〈生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫〉</p> <p>○「バンドの世界をのぞいてみよう」や「同世代の音楽活動」など、生徒に身近な音楽を取り上げ、音楽が社会の中でどのような意味や価値を持つのか意識的に考えられるよう工夫されている。</p> | |
| | <p>○リコーダーの運指表やギターのコード表、楽器一覧、音楽の約束事などがあり、すぐにわからない運指などを確認できるようになっている。</p> | |
| 資料 | | |
| 表記・表現 | <p>○和楽器においては、五線譜と和楽器固有の楽譜と奏法が示されている。</p> <p>○楽器の基本的な奏法が写真やイラストを使って説明されている。</p> | |
| 総括 | <p>○アルトリコーダーに関する内容が多く、さまざまな楽曲が取り上げられている。また、新しい運指が出てくるたびにすぐに確認できるようになっている。</p> <p>○演奏技能の習得に重点を置き、学年の段階を経て学習を行うことができる。</p> | |